月刊FALCOM MAGAZINE

Vol.
124



工房を突き進むラピスの
眼前に現れたモノとは？
創の軌跡
THE MISERABLE SINNERS

ついにアルセイユで《輝く環》に
向かうエステル一行、しかし――
英雄伝説 空の軌跡SC
～絆の在り処～

メインストーリー続々更新中！
『英雄伝説 暁の軌跡』

謎の食レポブロガーを探せ！
も～っと集まれ！
ファルコム学園

『軌跡』シリーズ始まりの
物語を振り返る
英雄伝説 空の軌跡

ファルコムニュース

ついに発売日が決定!!　メインキャスト情報も到着！

英雄伝説 黎の軌跡



FALCOM MAGAZINE

CONTENTS

リゼット・トワイニング

（CV：石川由依） *Risette Twinings*

年齢：20歳　武器：拳銃&ブレードギア

「契約者様のサポートがわたくしの主要業務であり、誇りですので。」



《マルドゥック総合警備会社》のサービスコンシェルジュを務めるメイド姿の女性。
淡い碧色の髪をなびかせたクールな美人だが、人当たりがよく何事にも丁寧な物腰で対応し、ちょっとした茶目っ気を見せるユーモアも持ち合わせている。
楚々とした外見とは裏腹に超人的なスピードとパワーを秘めており、その戦闘能力は一線級の猟兵さえも上回るほど。
《裏解決屋（スプリガン）》のヴァンには社外テスターとして専用武器や《Xipha》の専用アプリを無償提供しており、定期的に使用状況の査定を行うといった極めてビジネスライクな関係を築いている。



カトル・サリシオン

Quatre Salision　（CV：田村睦心）

年齢：15歳　武器：パルスガン&導力ドローン

15歳にしてバーゼル理科大学の修士課程にある、年若き研究者。
銀髪を切りそろえ、少女のように整った顔立ちで、どこか他人を寄せ付けない雰囲気を持っている。
専門は新型戦術オーブメント《Xipha（ザイファ）》規格のAIをベースとした《導力ドローン》の研究開発と運用だが、物理工学・生体工学などの研究室の助手も務めており、理科大学の象徴ともいうべき天文台にも思い入れを持つ。
幼少時にとある事情で共和国の導力革命の母、ラトーヤ・ハミルトン博士に引き取られ、以後彼女を実の祖母（グランマ）のように慕い、自身も研究者としての道を志すようになった。

「行こうFIO（フィオ）、XEROS（ゼロス）——博士の居場所を僕たちで守るために。」





黎の軌跡

クロノキセキ

発売日が9月30日に決定！
さらに主要キャラクターのキャスト情報も到着!!



アーロン・ウェイ　CV 内田雄馬

フェリ・アルファイド　CV 小倉唯

ヴァン・アークライド　CV 小野大輔

アニエス・クローデル　CV 伊藤美来

タイトル：英雄伝説 黎の軌跡	
発売日：2021年9月30日	**ジャンル**：ストーリーRPG
対応機種：PlayStation4	**プレイ人数**：1人
小売価格：未定	**CERO レーティング**：審査予定

カルバード共和国を舞台とした『軌跡』シリーズ最新作『黎の軌跡』の発売日が9月30日に決定！さらに主要キャスト情報や新たなキャラクター情報など、続々と新情報が到着した!!

ジュディス・ランスター

（CV：日笠陽子） *Judith Ranster*

年齢：22 歳　武器：流星鞭（ステラビュート）



「一人じゃちょ～っとだけ難しそうだから アンタたちに手伝わせてあげるわ――文句ある!?」

ピンクがかった金髪をなびかせ、圧巻の演技でファンを魅了する《導力映画》界におけるトップ女優の 1 人。
気さくな性格だが女優としてのプロ意識が高く、仕事では一切の妥協をしないほか、弱者を傷つけるものに対してはどんな相手だろうが真っ向から立ち向かう強い意志と正義感を持ち合わせている。
女優としてメディアの前に姿を現す一方、表には見せない“裏”の仕事も持っているらしく、女優業の合間を縫っては何らかの目的で秘密裏に行動を起こしている――のだが、どこか抜けたような性格のためか思わぬ失敗で醜態を晒したり、自ら相手に弱みを握らせてしまうといった事も。







ベルガルド・ゼーマン

Bergard Zeman　（CV：???）

年齢：69 歳　武器：籠手&具足（ガントレット）



「ハッハッハッ、今更小さいことを言うでない。――しがらみが多い方がおぬしには良かろう?」

東方三大拳法の一つ《崑崙流》を修めた武芸百般の達人にして大陸各地に数多くの教え子を持つ筋骨逞しい隻眼の老人。
かつては仕事でゼムリア大陸各地を飛び回っていたらしいが現在は役目を辞し、本当の名前も捨てて悠々自適の生活を送りながら諸国を巡る旅を続けている。
ヴァンにとっては彼に“真っ当な”武術を教えた師匠にして恩人でもあり、《裏解決屋（スプリガン）》の仕事を始める際も特に反対しなかった。
その後――帝国と共和国の間で紛争が始まった頃、ベルガルドが何らかの事件に巻き込まれて命を落としたという報せがヴァンのもとに届いていたはずだが……。







今回の戦術オーブメントは《Xipha（ザイファ）》！

シリーズの戦闘を支える戦術オーブメントは今作も引き続き登場！　その名も《Xipha（ザイファ）》だ。
『零』シリーズの《ENIGMA（エニグマ）》や『閃』シリーズの《ARCUS（アークス）》は第五世代だが、
今回の《Xipha》は第六世代の最新型だ。
《Xipha》は霊子装片（シャード）と呼ばれるエーテルの欠片を使用者の周囲に展開し、
それを制御することで様々な機能を発動させることが可能となっている。

《Xipha》全体の基本性能を左右する『ホロウコア』、『アーツドライバ』、『シャードスキル』とは？

●ホロウコア

ホロウコアは《Xipha》の核となる AI 搭載型コアクオーツで、「基礎アーツ攻撃力」、「基礎 EP」、「S ブースト特性」の 3 要素を持っており、《Xipha》全体の性能に大きな影響を及ぼしていく。ホロウコアは戦闘を経験することで Lv が上昇し、Lv に応じて強化されていくのだ。

●基礎アーツ攻撃力
《Xipha》所有者のアーツ攻撃力を底上げする基本パラメータ
●基礎 EP
《Xipha》所有者の EP 最大値を増加させる基本パラメータ
●S ブースト特性
戦闘中に発動させることができる特殊効果



●アーツドライバ

アーツドライバは複数のアーツがインストールされており、《Xipha》に組み込むことでアーツが使用可能になるパーツ。使用可能なアーツはセットするホロウコアの Lv に依存しており、Lv の高いホロウコアと組み合わせることで、より強力なアーツを発動させることができるようになるのだ。さらに、アーツドライバにはあらかじめインストールされているアーツのセットとは別に、カスタム可能なスロットも設けられているため、自分に足りないアーツを用意することも可能だ。



●シャードスキル

シャードスキルはホロウコアのラインにセットしたクオーツの属性値により発動する特殊効果。中央のホロウコアからは、「ウェポン」、「シールド」、「ドライブ」、「EXTRA」という 4 本のラインが伸びており、このラインにクオーツをセットしていくことで、様々なシャードスキルが発動するようになっている。
シャードスキルはその性能に応じて必要となる属性値の種類や数値が決められているので、それを意識しながらオーブメントをセッティングすることで、より高度なシャードスキルが発動できるのだ。



『黎の軌跡』の気になるキーワード&舞台設定をチェック！

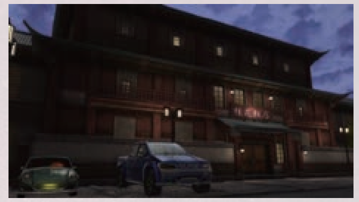
煌都ラングポート *Langport Vice-Capital*

カルバード南部、「羅州」とも呼ばれる南海に面した人口 55 万にも及ぶ巨大海港都市。
その規模は貿易都市クロスベルや帝国の海都オルディスを上回り、共和国という“多様性の巨大国家”第二の心臓と言えるほどの勢いを近年、内外に示している。
近代的なビルが立ち並ぶビジネス街・商業地区のほか大陸最大の東方人街が広がっており、夜はその壮大な夜景が煌くように現れるため「煌都」と呼ばれるようになった。
その煌びやかさとは裏腹に、共和国最大のシンジケートである《黒月（ヘイユエ）》の本拠地としても知られている。



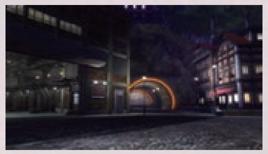


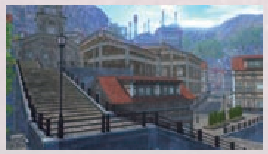


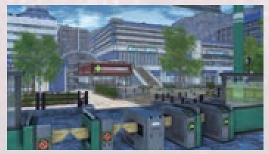


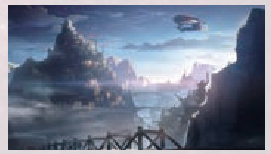
工学都市バーゼル *Basel City*

カルバード南西にある人口 18 万の学術工業都市。
古くから自然科学系の学術研究で有名で、バーゼル理科大学という天文台を有する大学があるほか、中世には建築、水利、産業、学術などの機械・器具を手掛ける職人たちの組合も存在していた。
導力革命後は職人組合と理科大学が共同でヴェルヌ社を設立。産業協同プロジェクトが立ち上がり、高低差のある区画をエアロトラム（ロープウェイ）で結びつけるなど美しい景観を残しつつ最新の学術工業都市化計画が進んでいる。







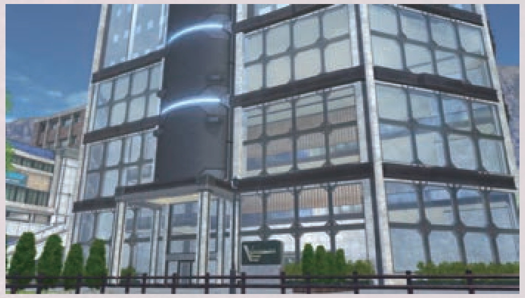


マルドゥック社 *Marduk Total Security Company*

カルバード共和国の北西・オレド自治州に本社を置く総合警備会社――もといPMC（民間軍事会社）。
10 年ほど前に設立され、最初は大陸各国の企業等に警備保障サービスを提供していたがここ数年で業務を拡大し、軍事オペレーションに関わる分野にまで進出している。
ただし、猟兵団とは異なり、各国の法をギリギリくぐり抜けられるプランニングを提示することが多くリスクを負いたくない大企業が高額な費用（ミラ）で契約している。
警備・軍事サービスの他にもテスターを起用して独自に軍用格闘・白兵戦術の開発・研究を推し進めており自社で培ったノウハウを各国の軍、猟兵団に有償提供している。逆に優秀なテスターからはデータを買い上げるといったサービスも行っており、これらの事業はすべて、マルドゥック社のSC（サービスコンシェルジュ）がサポートする形で対応を行っている。

ヴェルヌ社 *Verne Industrial Company*

カルバード南西、工学都市バーゼルに本拠を置く巨大技術メーカー。
帝国のラインフォルトグループと並び称されているが、産学共同の性格もあってかフットワークはやや低めで、学術的な見地から多角的かつ練られた形での開発アプローチを取っている。
元々バーゼルにあった職人組合と現存する理科大学が母体となっており、リベールのツァイスが機械式時計、帝国のラインフォルトが火薬式大砲を手掛けていたのに対し天体望遠鏡や建築・水利技術、機織り機などを古くから手掛けてきた。
約 50 年前の導力革命において、導力器を発明したエプスタイン博士の三高弟の一人、ラトーヤ・ハミルトンが導力技術を持ち帰り、共和国内で技術を発展させていくことに。
ハミルトン博士を顧問に据えたヴェルヌ社は、ゼムリア大陸史上初となる導力車の開発を成功させたほか、天体望遠鏡の光景を記録するための導力写真や導力映像といった先進技術の研究開発にも注力。映像技術と大衆文化が結びついた「導力映画（オーバルシネマ）」など共和国内で独自の文化を生み出すきっかけともなった。



導力映画 *Orbal Cinema*

導力技術と大衆文化が結びつき、共和国で独自の発展を遂げた娯楽映像作品。
28 年前の誕生以来、大小様々な映画会社が発足しておりその広がりと共に共和国内で映画祭も開かれるようになった。
当時は舞台の方が主流だったものの、次第に立場が逆転――
映画専門の監督、俳優、女優も現れるようになり、オペラやミュージカルとは異なる“歌”を披露する“スター”のような存在も目立つようになってきた。
七耀暦 1208 年はサルバッドでの映画祭が企画されており、共和国最大手のメディア「タイレル通信」のほか映画産業の育成を目論む周辺国がスポンサーとして名乗りを上げている。

遊興都市サルバッド *Tharbad City*

カルバード南東、砂漠のオアシス湖に面した人口 10 万の都市。
元々は中東系の伝統舞踊や音楽が盛んなオアシスの宿場町だったが、40 年ほど前に行われた理科大学とヴェルヌ社の共同調査による地下水脈の改善により水量が増加。それを受けて都市整備計画が立ち上がり、「観光保養都市」として発展を遂げた。
近年では新進気鋭の映画会社「ベガスフィルム」が本拠を構えるようになったほか、六つ星リゾートホテル「アルジュメイラ」や活気あふれるバザールを体験できる伝統地区も旅行者や観光客の人気を集めている。



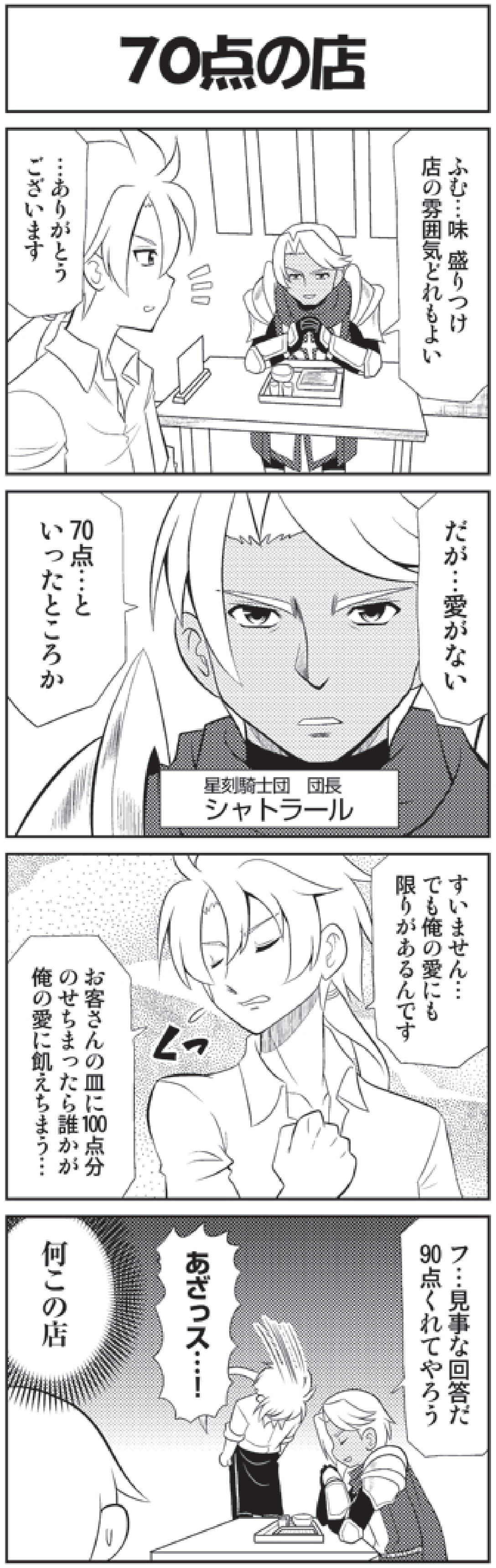




★話題の食レポブロガーの正体に迫る!★







自信ある人々



燃えない赤毛



情報のチカラ



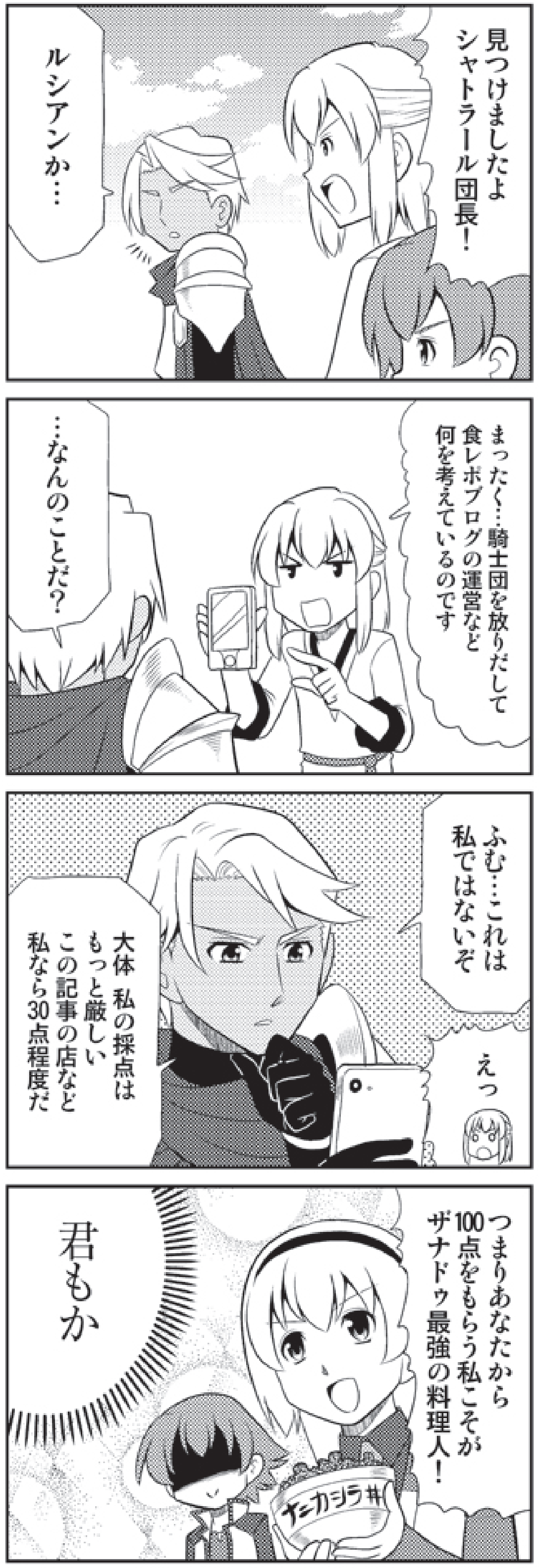
隠れ家の消えた日



忌憚なき意見



厳しい団長



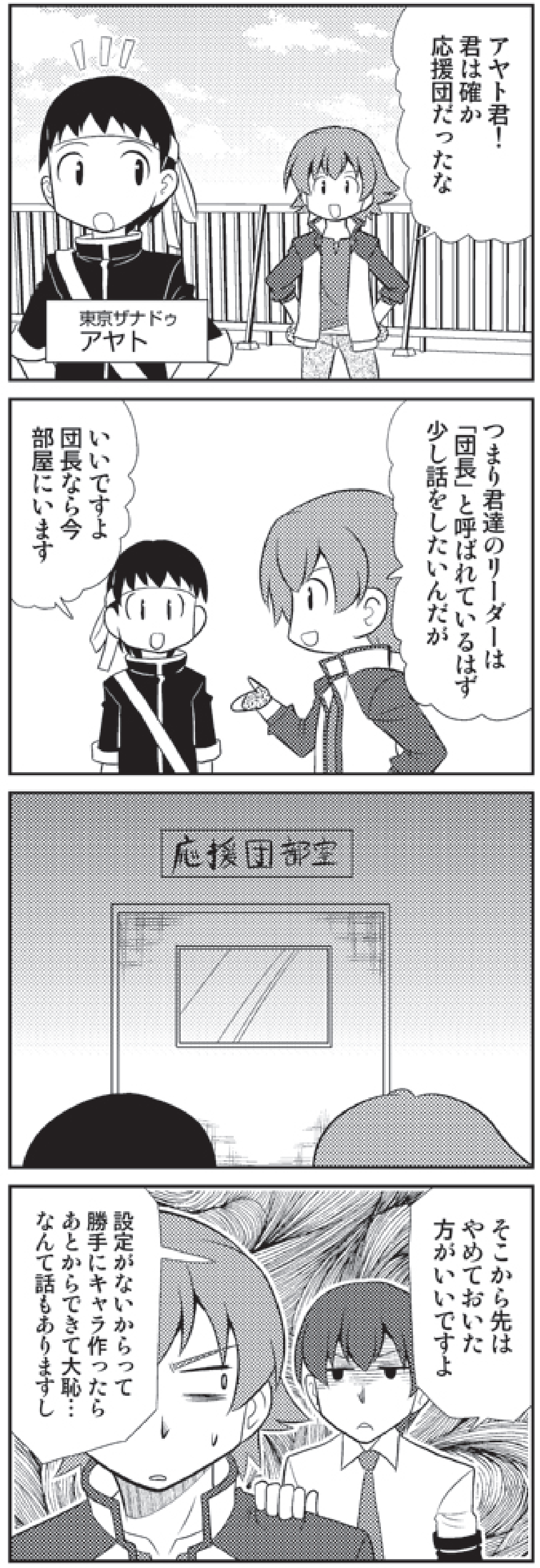
不器用な親子



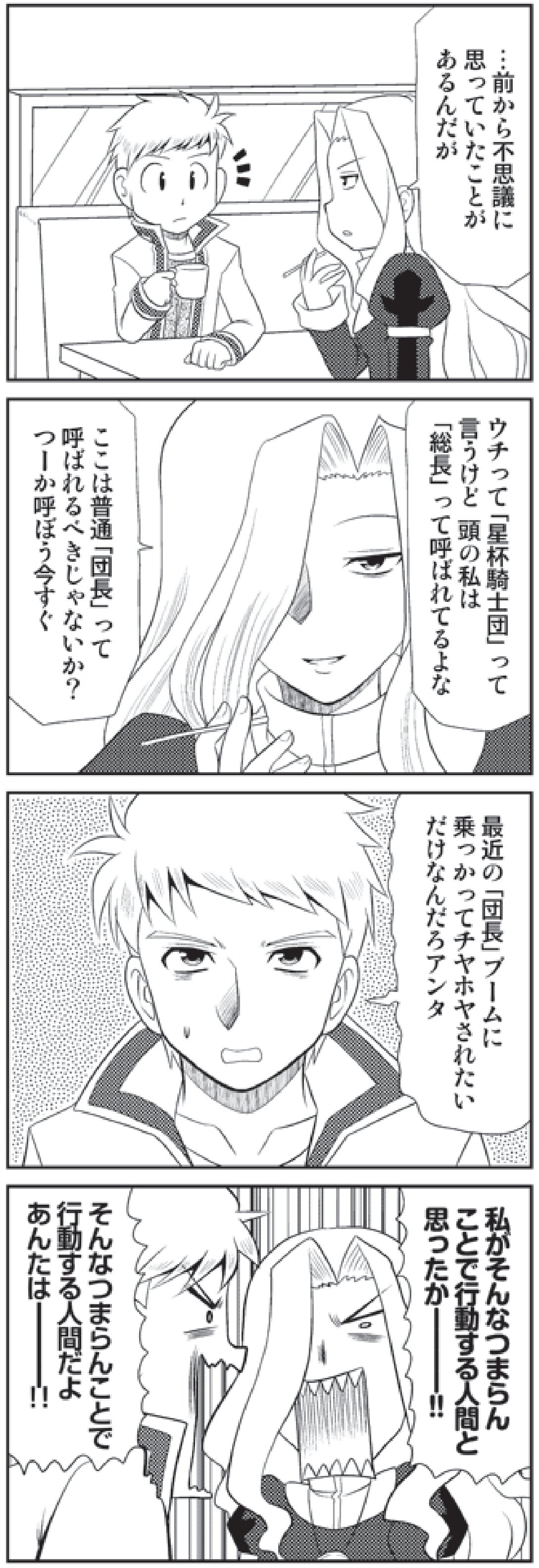
団長総あたり



本当にあった怖い話



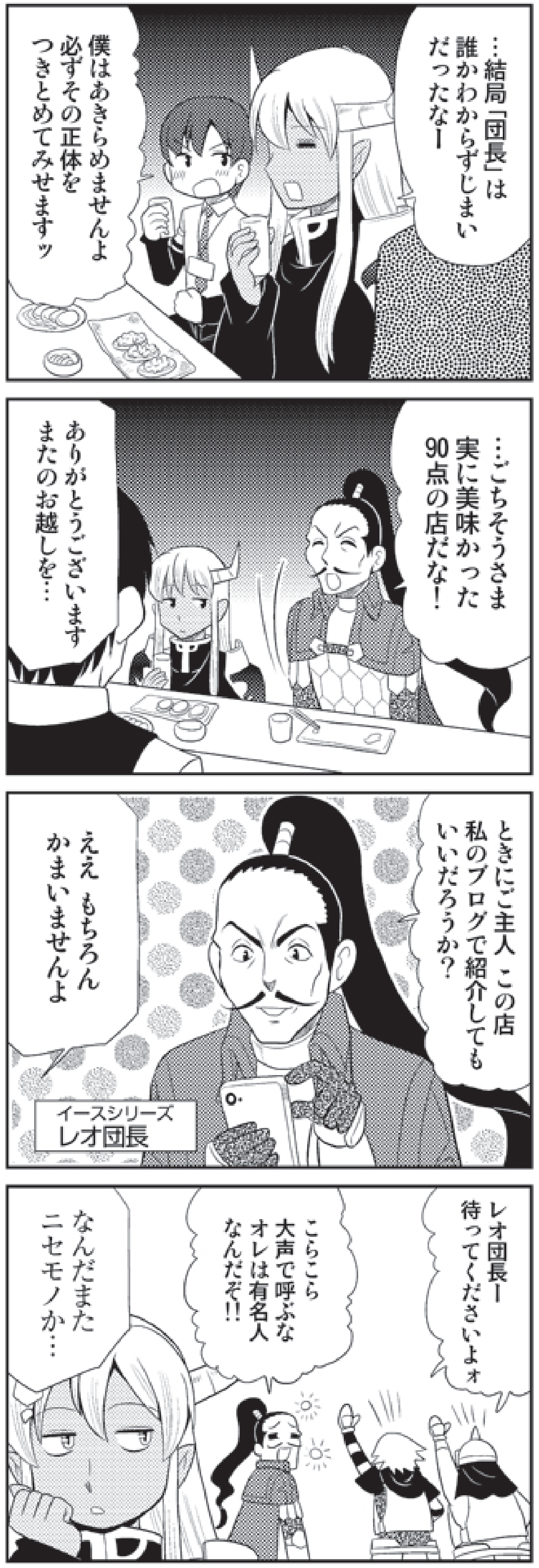
つまらんこと



正体に迫る

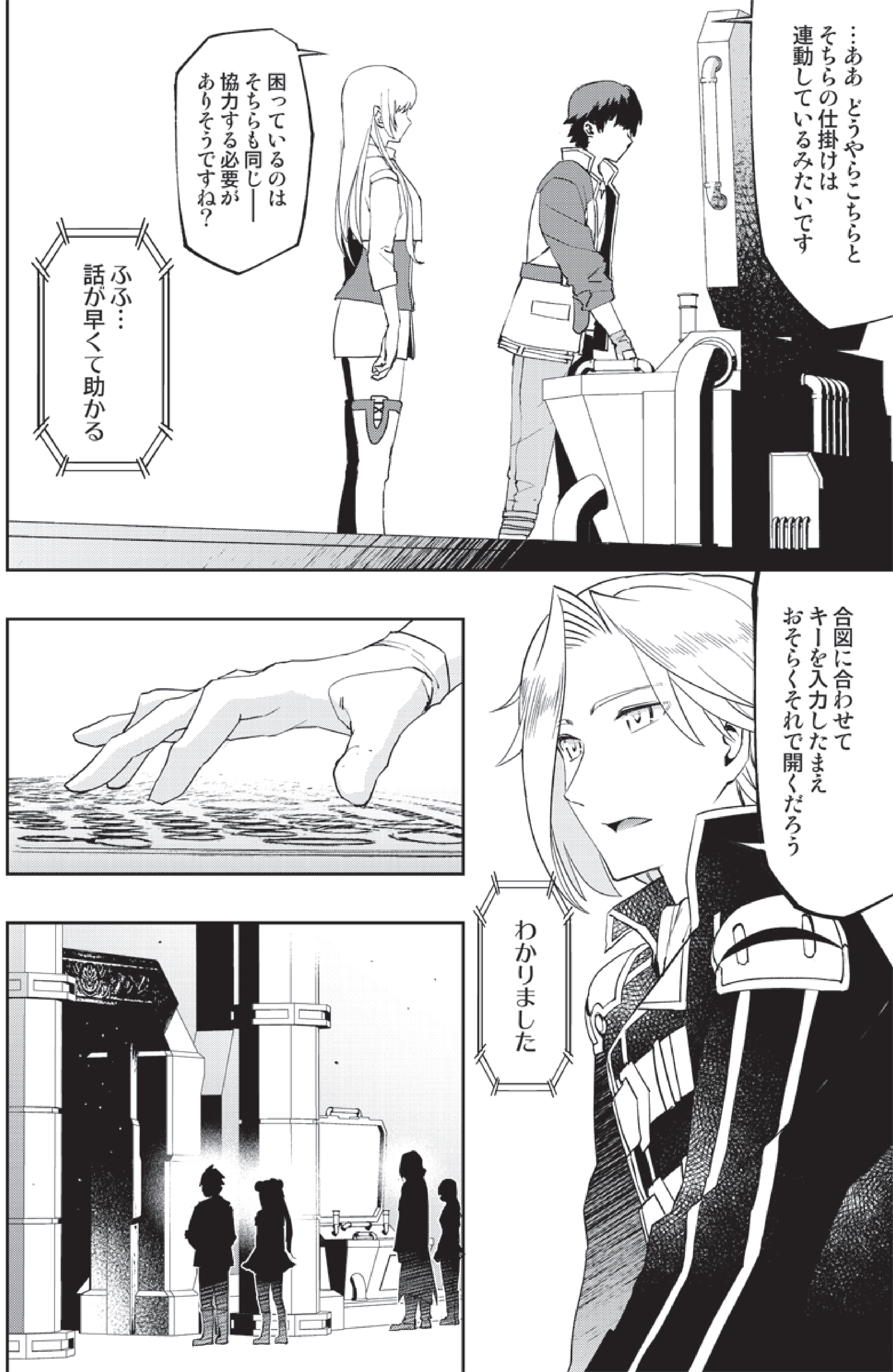


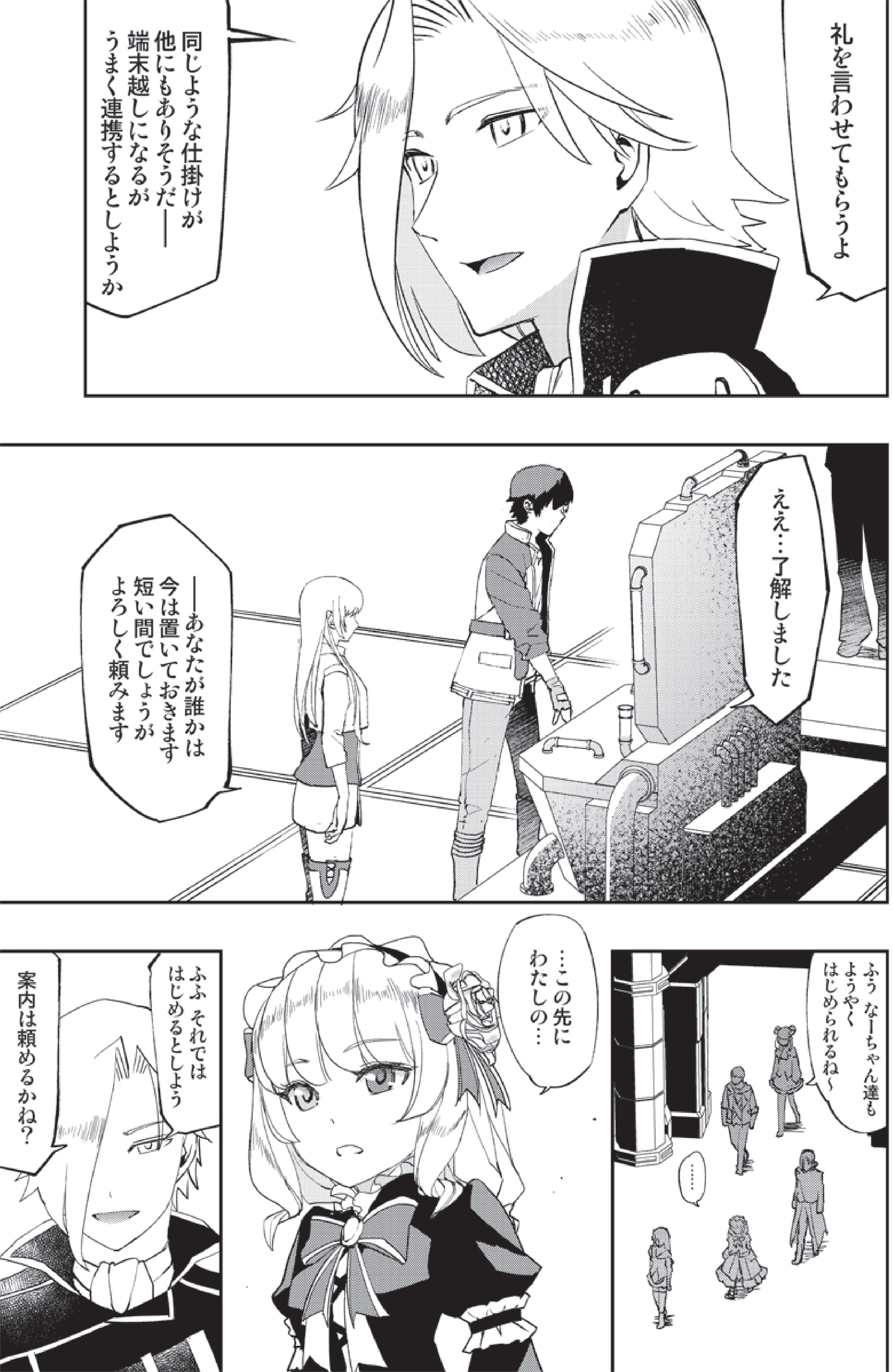
団長はすぐそばに




──あーあー
もしもし？
そこに誰か
いるはずよね？
こちらの声
聞こえるかしら？
こちらはクロスベル警察
特務支援課のロイド・
バニングスです
どちらからの
交信ですか？
THE LEGEND OF HEROES
創の軌跡
【はじまりのきせき】
THE MISERABLE SINNERS
漫画　墨天業
原作　日本ファルコム
……
ッ
──生憎だが
こちらの仔細を
教えるつもりはない
だが今の状況は
把握できている
ようだね？
……

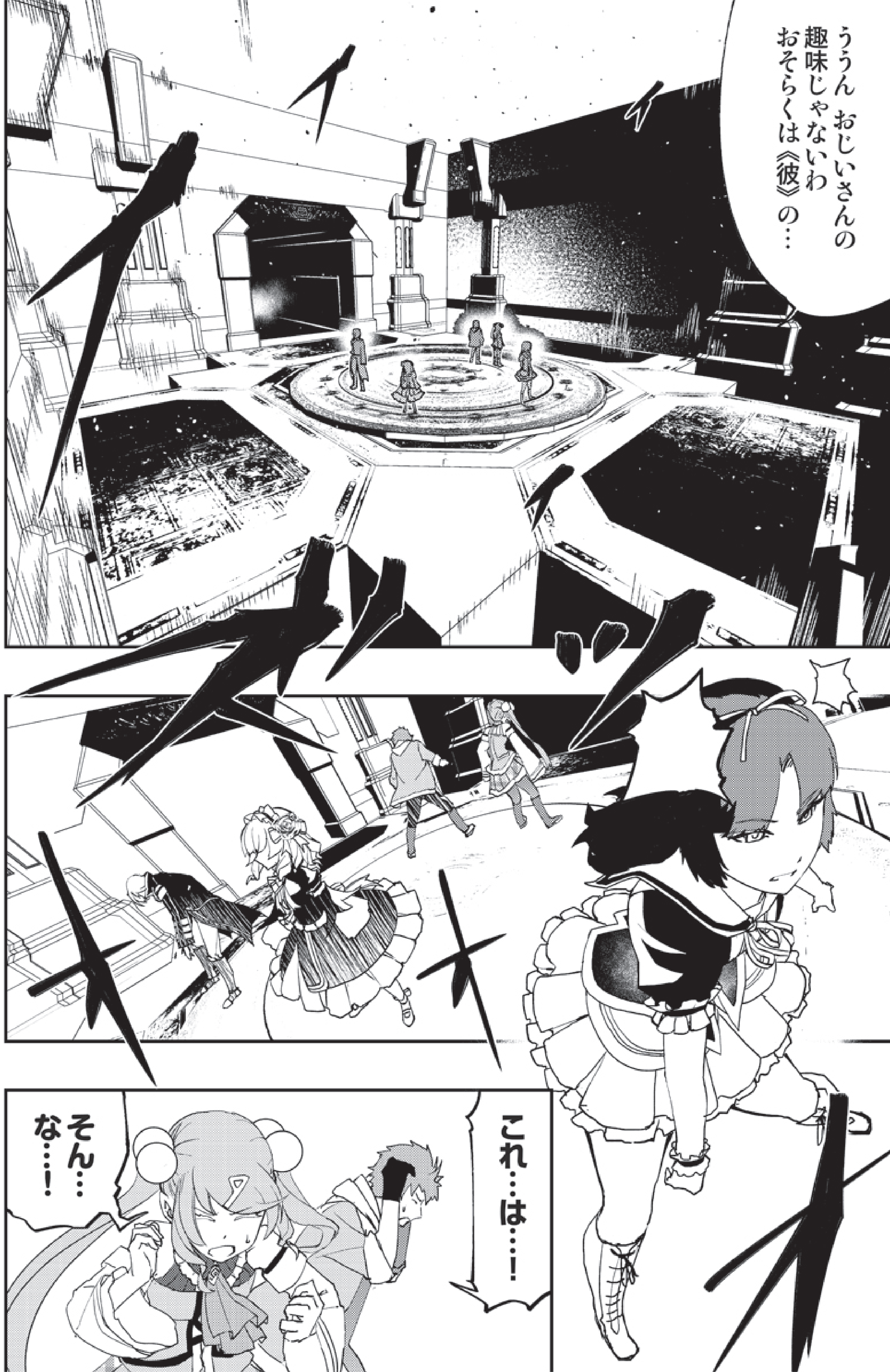

穏やかで騒がしい生活が戻ってきたファルコム学園。
徐々に英雄、戦士、さらには曲者までが還ってくるなか、
新たに「イースⅨ」のキャラクターも参戦！
まだまだ止まらない異能・新久保だいすけの筆が冴え渡る！
おまたせ！待望の第2巻だよ！
も〜っと集まれ！
ファルコム学園②
新久保だいすけ
定価：本体 900 円＋税
ISBN 978-4-8021-3213-8
©Nihon Falcom Corp. All rights reserved.　©DAISUKE ARAKUBO　©2020 FIELD-Y
発行：フィールドワイ　フィールドワイ公式HPはこちら→ www.field-y.co.jp
発売：メディアパル　ファルコムブックス公式HPはこちら→ www.field-y.co.jp/falcombooks


…ああ どうやらこちらと そちらの仕掛けは 連動しているみたいです
困っているのは そちらも同じ―― 協力する必要が ありそうですね？
ふふ… 話が早くて助かる
合図に合わせて キーを入力したまえ おそらくそれで開くだろう
わかりました

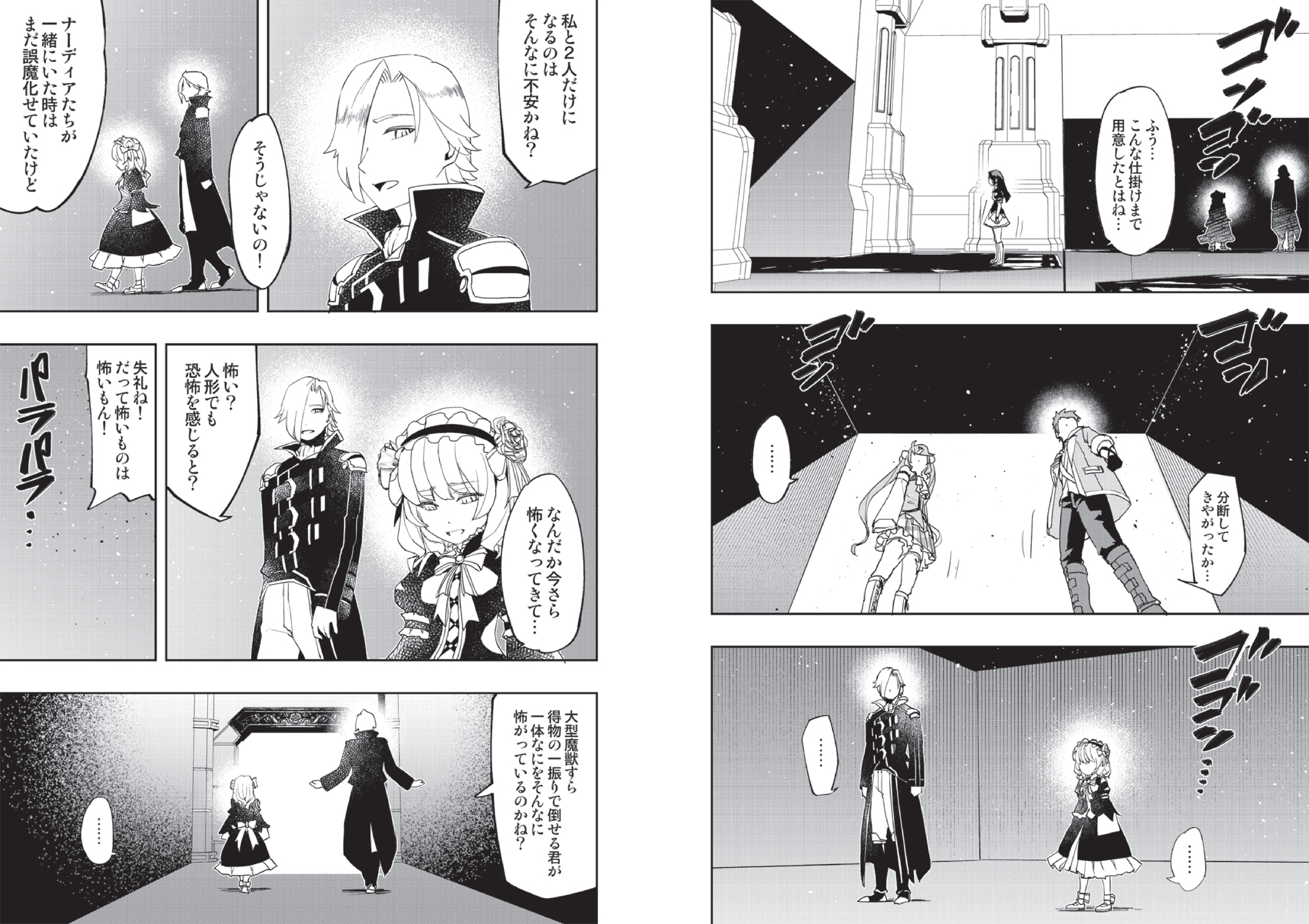

礼を言わせてもらうよ
同じような仕掛けが 他にもありそうだ―― 端末越しになるが うまく連携するとしようか
ええ…了解しました
――あなたが誰かは 今は置いておきます 短い間でしょうが よろしく頼みます
ふう なーちゃん達も ようやく はじめられるね～
……
…この先に わたしの…
ふふ それでは はじめるとしよう
案内は頼めるかね？


ええ——
とは言っても構造はまったく変わっているみたいだけど
何が仕掛けられているかわからないわ
とにかく慎重に進みましょう……！
それにしても向こう側にいるのは一体…
複数人で話しているみたいだったけど
……とにかく俺たちは俺たちの集められる手がかりを探そう


……
もうっ優雅さの欠片もないオモチャばっかり！
これもローゼンベルクテクノロジー…なのかな？

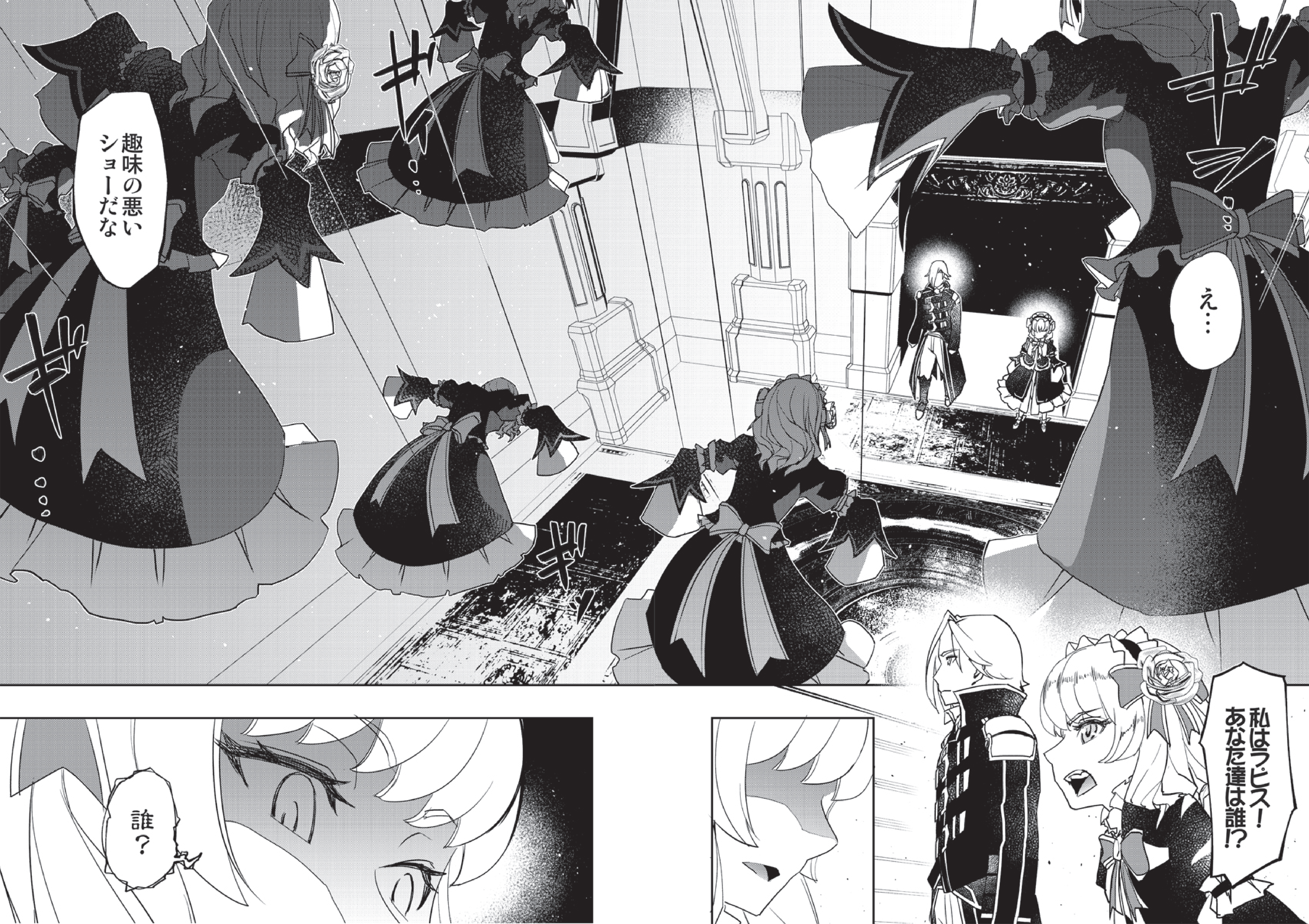

ううん おじいさんの趣味じゃないわ おそらくは《彼》の…
これ…は…!
そん…な…!

真ん中から離れなさい! 今すぐ――!!
ゴゴゴ
あ…?
……
……


ふう…こんな仕掛けまで用意したとはね…
分断してきやがったか…
……
……
……
私と2人だけになるのはそんなに不安かね?
そうじゃないの!
ナーディアたちが一緒にいた時はまだ誤魔化せていたけど
なんだか今さら怖くなってきて…
怖い?人形でも恐怖を感じると?
失礼ね!だって怖いものは怖いもん!
パラパラ…
大型魔獣すら得物の一振りで倒せる君が一体なにをそんなに怖がっているのかね?
……


このまま奥に進むのが怖い…
もしデータが残っていて私の記憶が戻ったら…
怖い…
その記憶こそが君が求めてきたものではないか？
そうなんだけどそのはずなんだけど…今はちょっとわからなくなったの…
目覚めてからまだ数日しか経ってないけど…

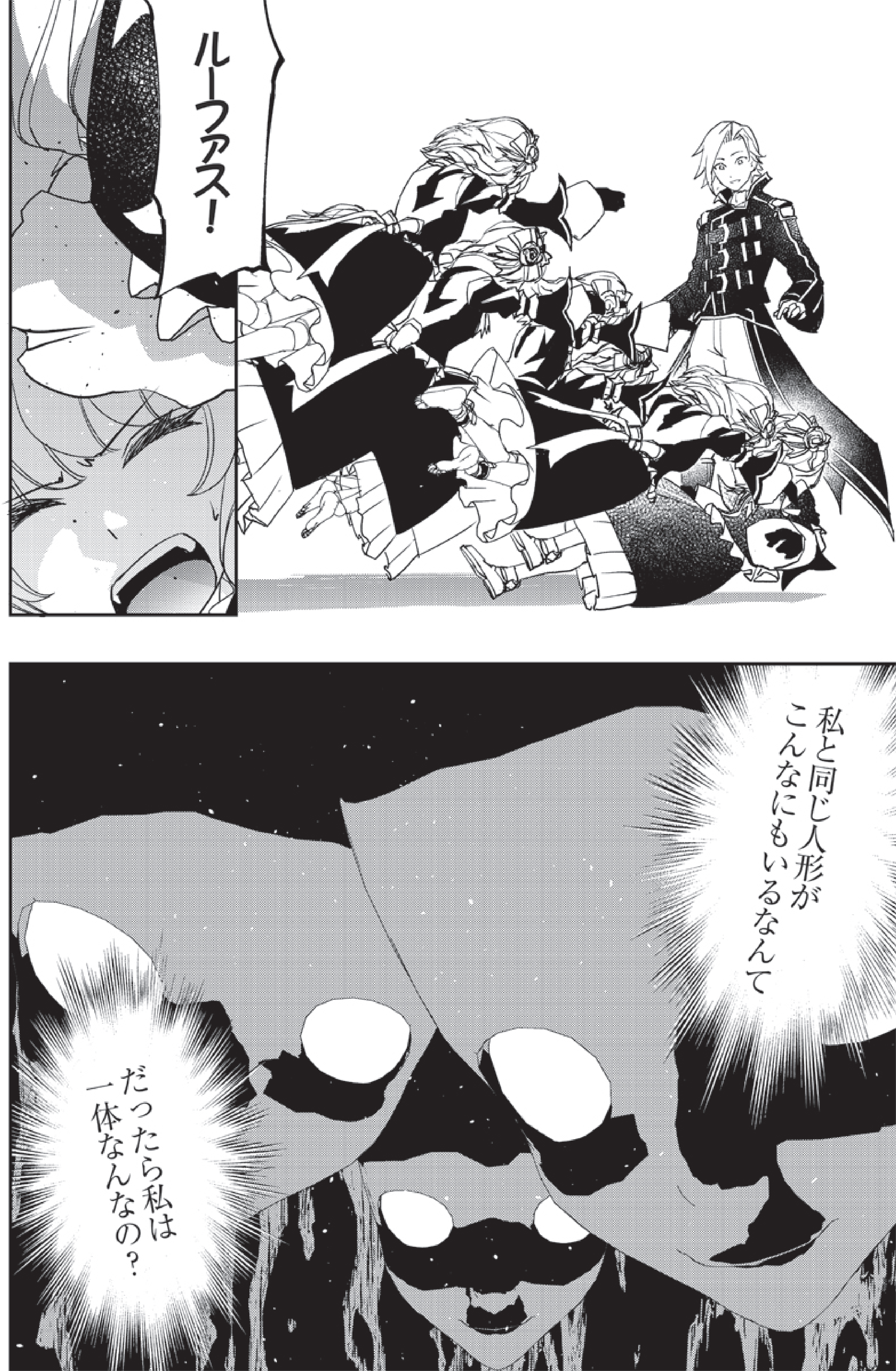

ルーファスと会ってナーディアと会ってスウィンと会って一緒にいろんなことをして…本当に楽しかったの
何も憶えていない私だけどこの数日の記憶だけは間違いなく私のものそれが今の私
でももし記憶が戻ったら…？
なのに他の記憶は入ってそれすらもあやふやになったら…
この体もこの心も作り物それでもこの記憶だけは本物私だけのもの
その時 私は一体「誰」になるんだろうって…
それは…



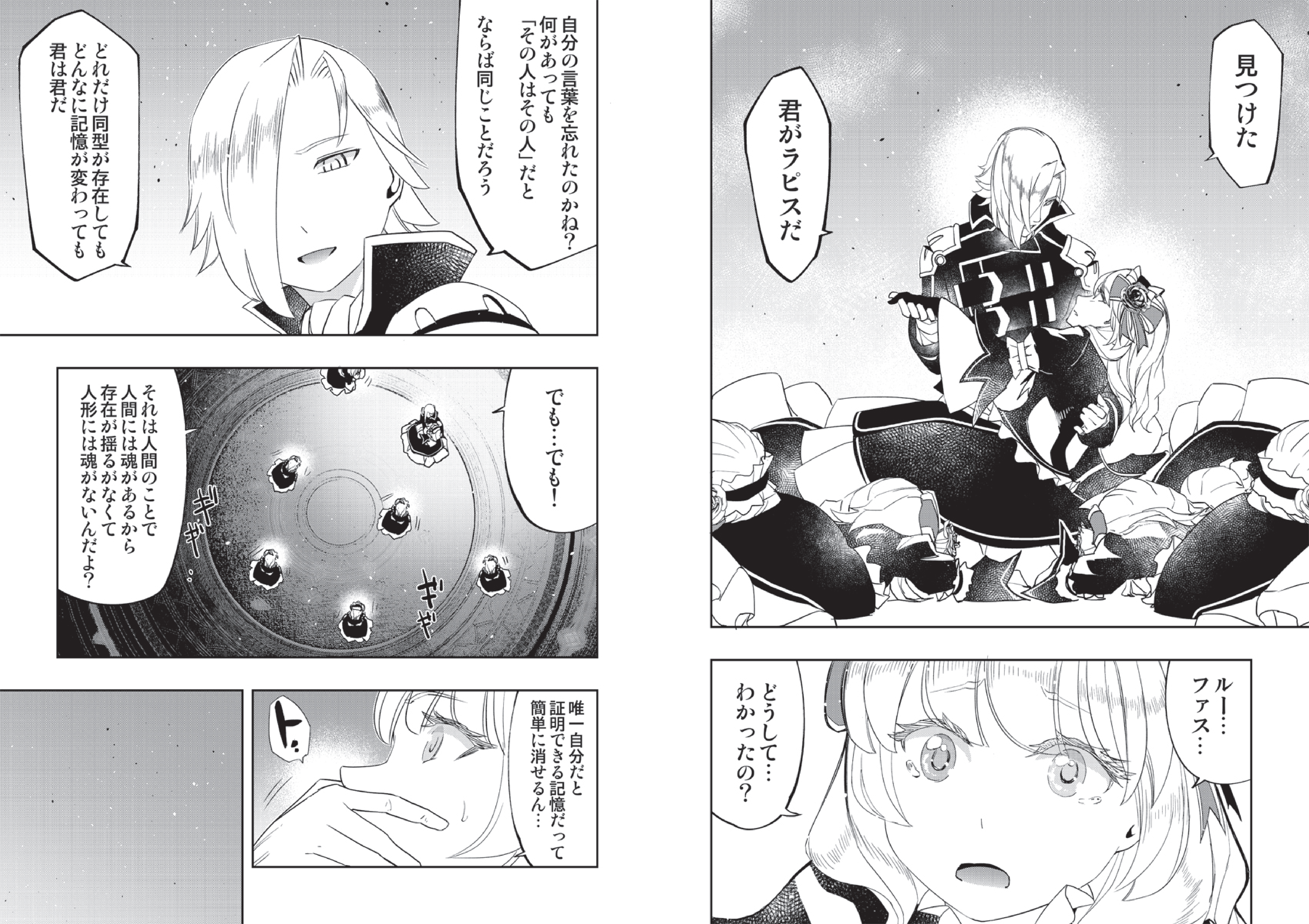
え…
趣味の悪いショーだな
私はラピス！あなた達は誰!?
誰？

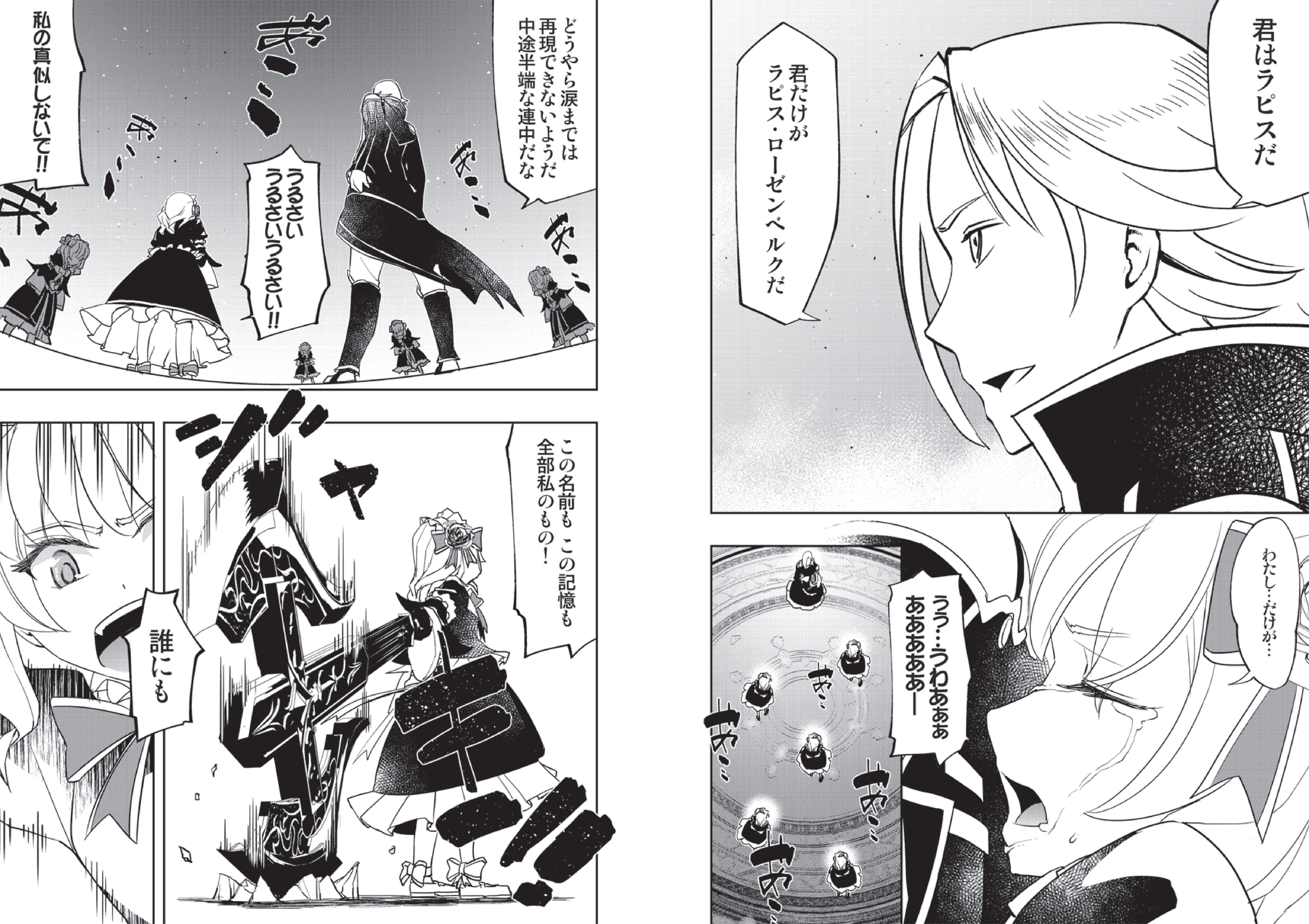

誰？
あなたは誰？
あなた達は誰？
私達は誰？
ラピス？
ラピス


私はラピス！
私はラピス！
ラピス！
私はラピス！
私はラピス！
そんな…違う！ラピスは私よ！
どうして私の真似をするの！
気をつけろ！


ルーファス！
私と同じ人形がこんなにもいるなんて
だったら私は一体なんなの？

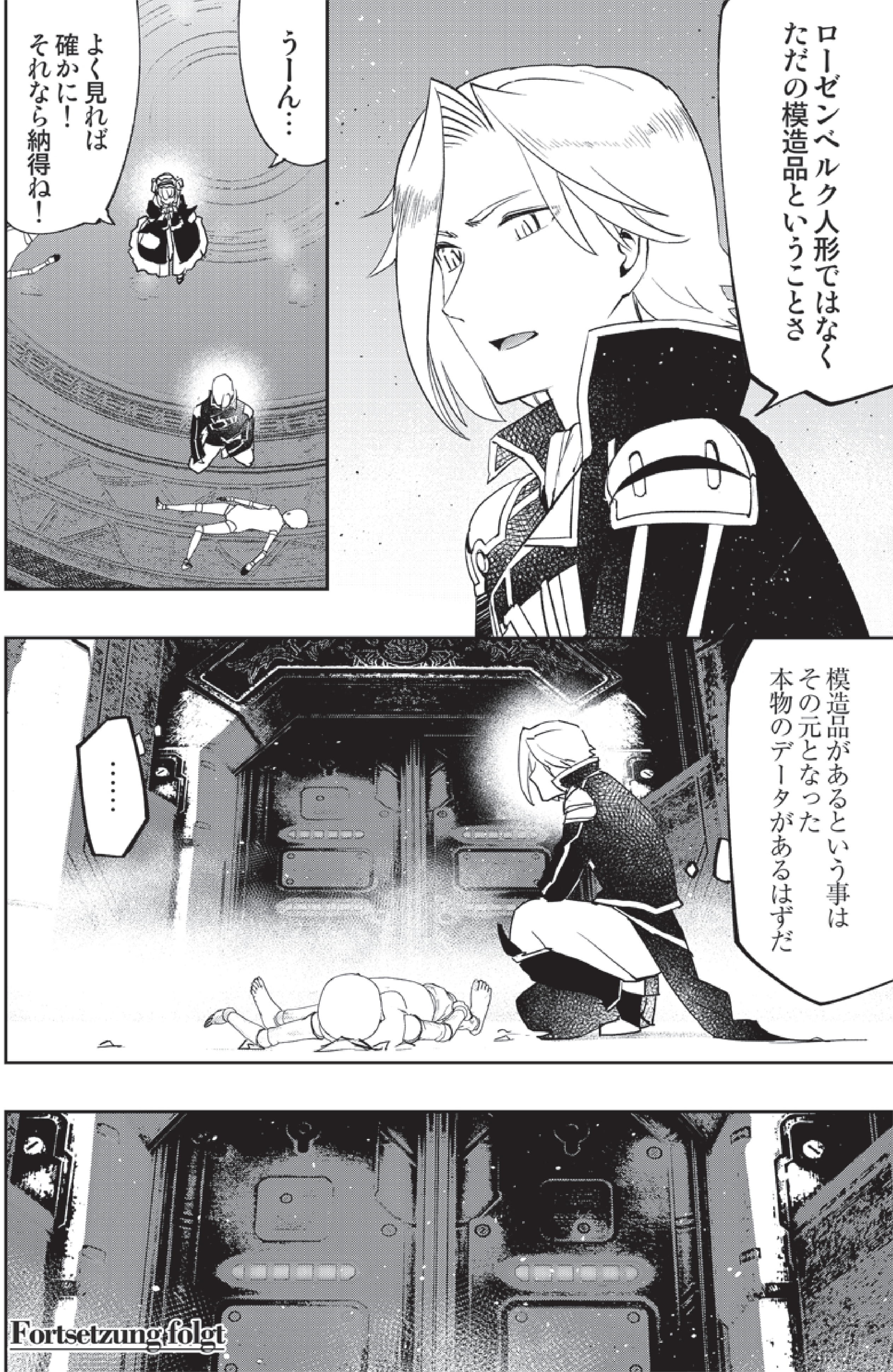

彼女達もラピスを名乗るなら…
私は「ラピス」ですらないの…？
わた、しは……


見つけた
君がラピスだ
ルー…ファス…
どうして…わかったの？
自分の言葉を忘れたのかね？何があっても「その人はその人」だとならば同じことだろう
どれだけ同型が存在してもどんなに記憶が変わっても君は君だ
でも…でも！
それは人間のことで人間には魂があるから存在が揺るがなくて人形には魂がないんだよ？
ギギギ…
ギギ
唯一自分だと証明できる記憶だって簡単に消せるん…
ト…


君はラピスだ
君だけがラピス・ローゼンベルクだ
わたし…だけが…
うう…うわあぁぁあああああー
どうやら涙までは再現できないようだ中途半端な連中だな
うるさいうるさいうるさいうるさい!!
私の真似しないで!!
この名前も この記憶も全部私のもの!
誰にも


あげないんだからああ――！
ふう やはり こうなるか
全部ぶった斬るっ…!! 手伝ってルーファス！


ふん見たか！ これがラピス ローゼンベルクの実力よ！
同じなのは 外見だけという事か
こちら方面に詳しい訳ではないが どうやら主な技術体系は 《結社》の人形兵器のもののようだ
ローゼンベルクも《結社》の 《十三工房》に属している という話だったが
さて 果たしてかのマイスターは こんな杜撰なものを作るだろうか？
つまり…
どういうこと？
つまり これらは


ローゼンベルク人形ではなくただの模造品ということさ
うーん…
よく見れば確かに！それなら納得ね！
模造品があるという事はその元となった本物のデータがあるはずだ
……
Fortsetzung folgt


空の軌跡SC
〜絆の在り処〜
漫画 啄木鳥しんき
原作 日本ファルコム
《輝く環（オーリオール）》は
空の女神が古代人に授けたとされる《七の至宝（セプト＝テリオン）》のひとつ

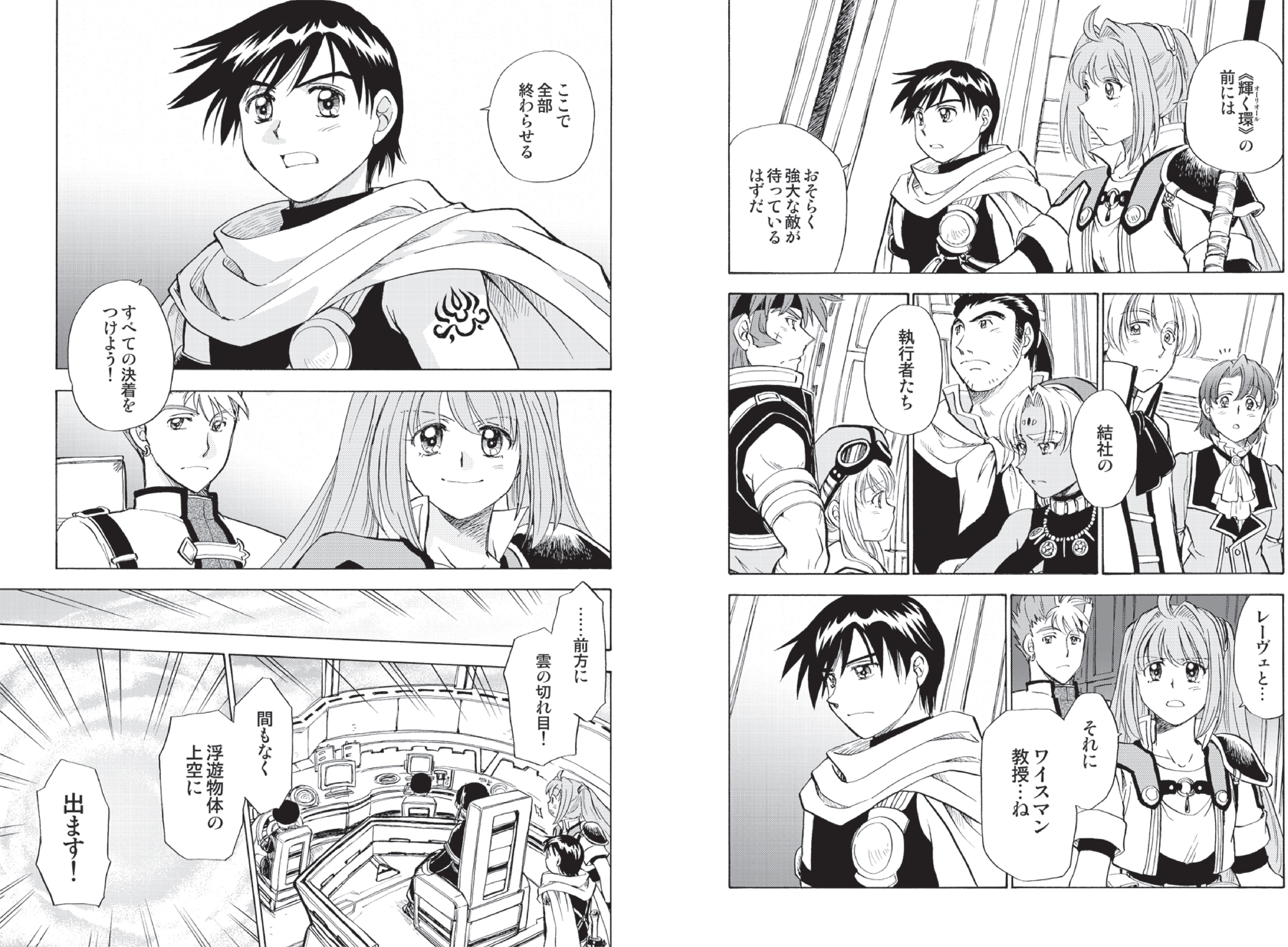

運命に導かれるように再び出逢ったエステルとヨシュア。同時に、世に混乱を求める《身喰らう蛇》の秘密計画が実体となって姿を表す。リベール王国全土を巻き込む混沌の行方は!? 緊迫の第5巻!
《結社》との決戦の刻、迫る！
英雄伝説 空の軌跡SC 5
ソラノキセキSC
著者：啄木鳥しんき
原作：日本ファルコム
定価：本体900円＋税
ISBN 978-4-8021-3211-4
©Nihon Falcom Corp. All rights reserved.
©KITSUTSUKI SHINKI ©2020 FIELD-Y
発行：フィールドワイ
発売：メディアパル
フィールドワイ公式HPはこちら www.field-y.co.jp
ファルコムブックス公式HPはこちら www.field-y.co.jp/falcombooks

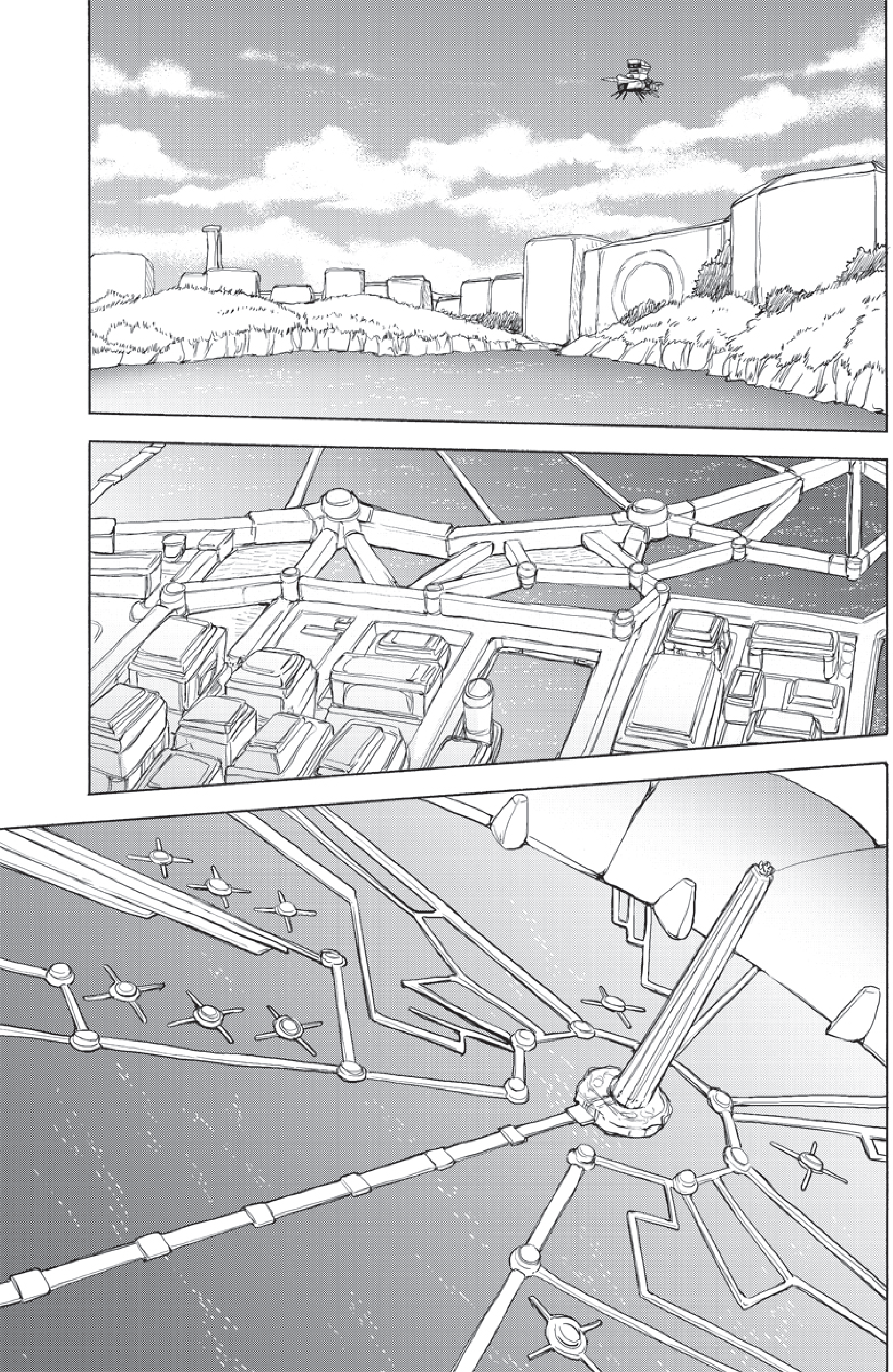

七耀歴0年頃
ゼムリア大陸全土で起きた
大崩壊っちゅー災厄の時
リベール王国の地下深くに
封印されたんやけど
今回その封印が
解かれてしもうた
せいで
力を取り戻した《環》は
浮遊都市ごと
空に浮上したって
わけなんや
浮遊…都市
…ごと？
もしかして
空に浮いてる
でっかい物体が
《輝く環》って
わけじゃないの？

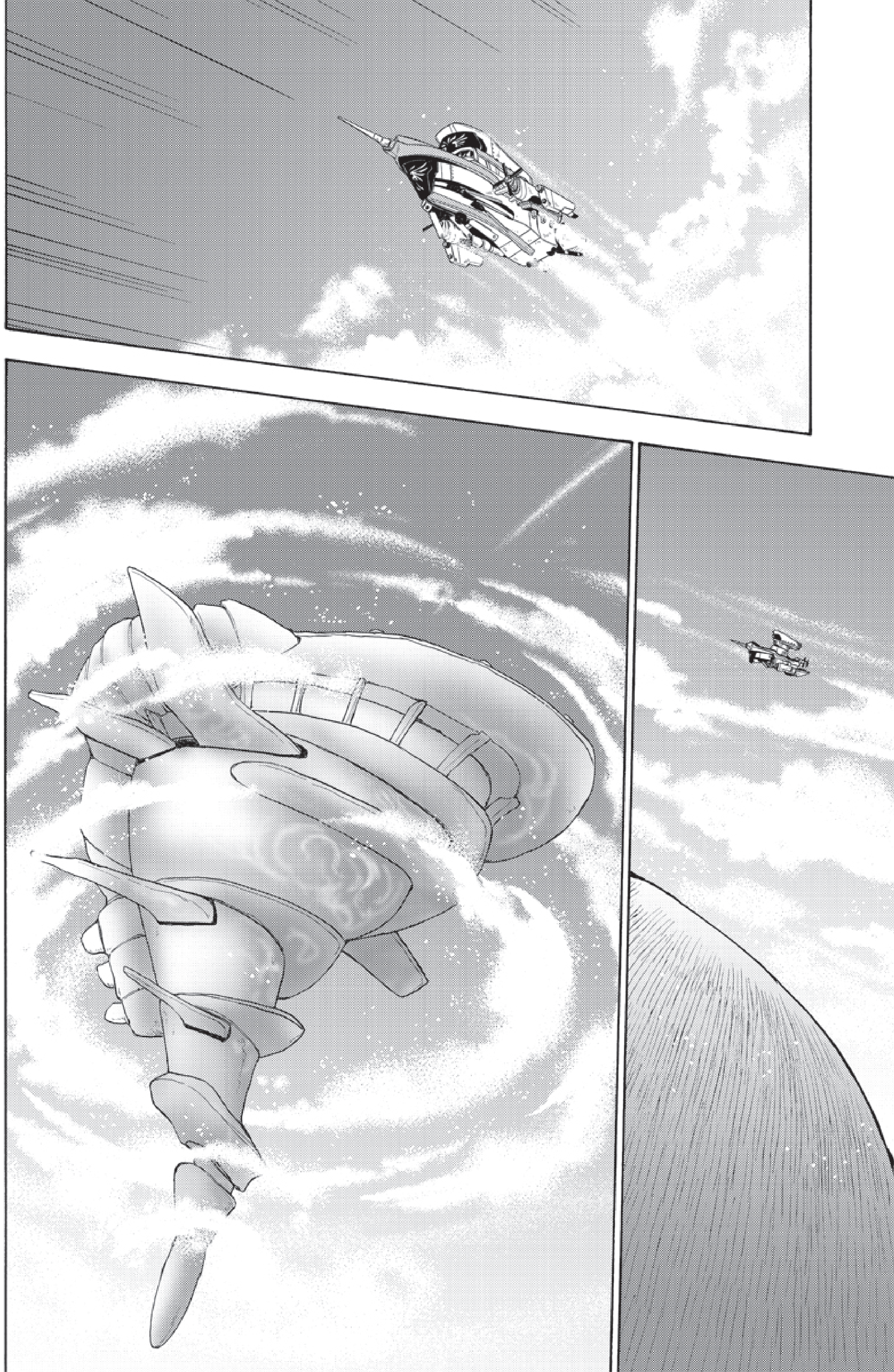

そやで
《輝く環》は
あの浮遊都市
そのものやのうて
あの都市の中にあって
そこの導力を
コントロールしてる
古代遺物らしいんや
で…でも
コントロールって
導力の流れを
より良く調整する
ことですよね
なのに
どうして
導力停止現象
なんて事態が
起きちゃうんで
しょうか？
これは…
推測やけど
《環》はあの都市全体の
導力を行き届かせる
力だけやのうて
外界に存在する異物を
排除する働きを
備えてるんとちゃうやろか

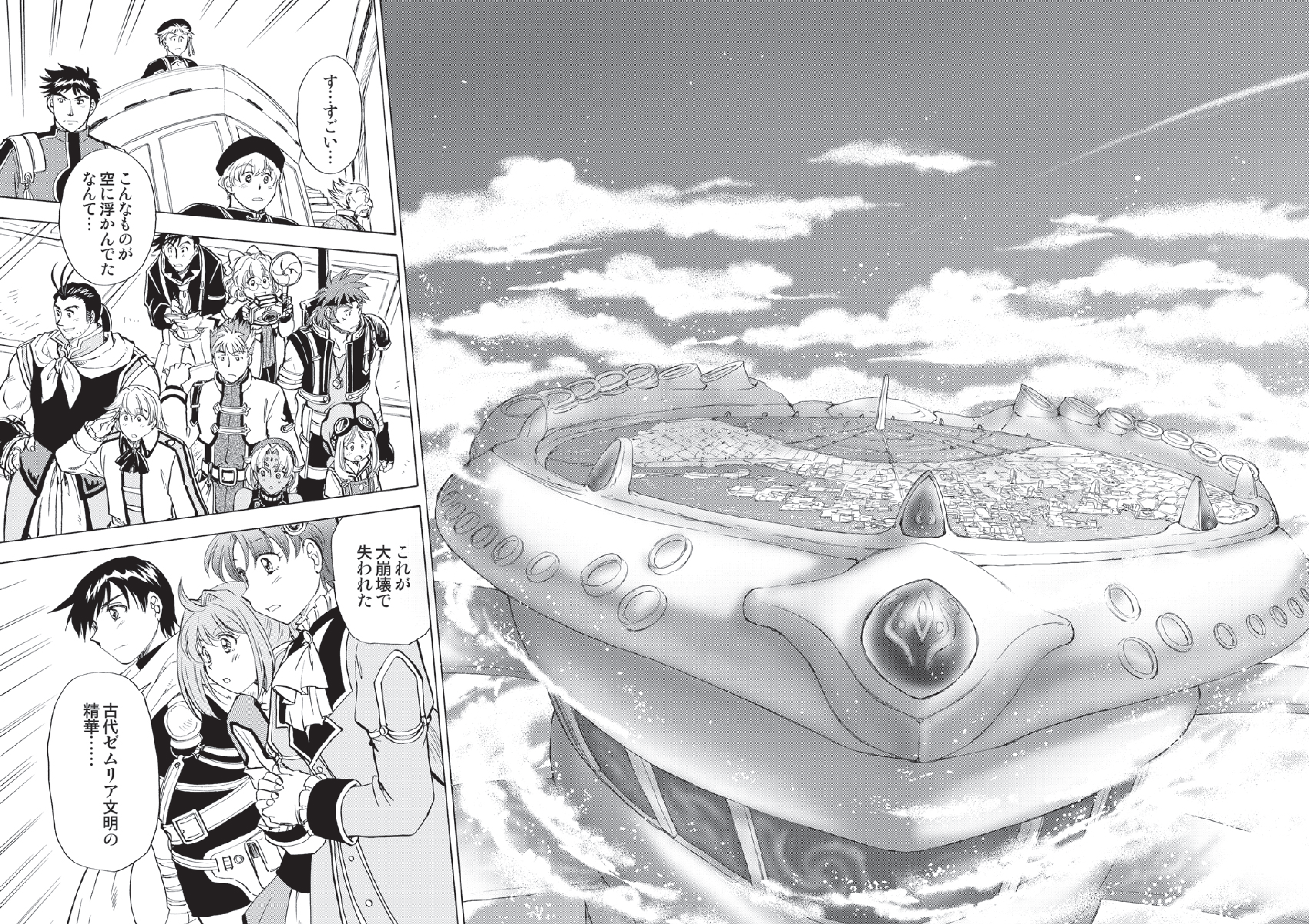

それって…
あたしたちが使ってる導力器は《輝く環》にとって排除すべき異物だってこと…?
故に影響範囲内にある物はことごとく無力化する
いわば防衛機構というわけか
…その可能性は高いじゃろう
だとすると
わしらが今までやってきたことは
空の女神のお気に召さんかったということなのかの
だったら
なんだって言うの!?

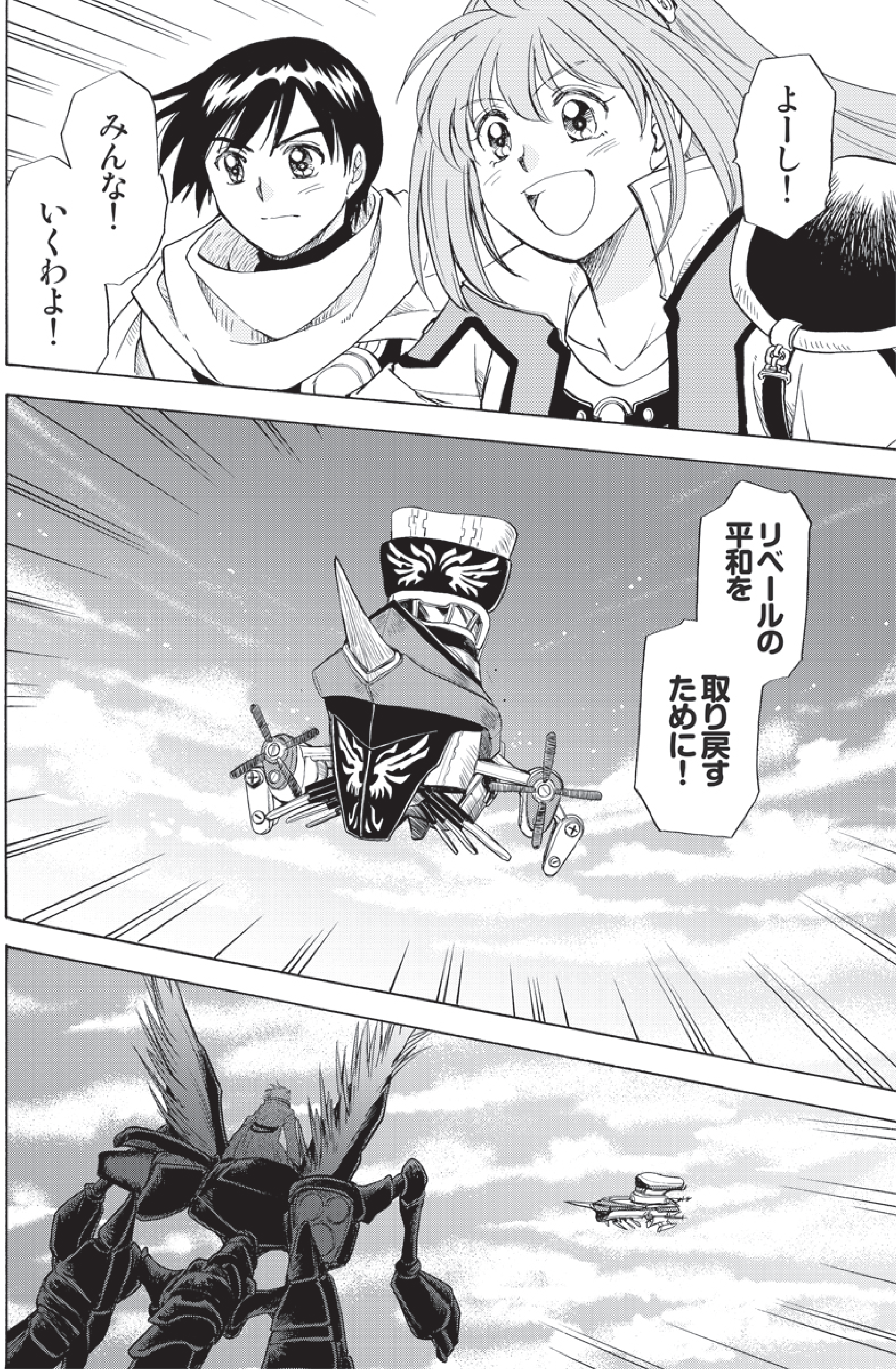

今まで起きた悪いことは全部《輝く環》が原因で
その《輝く環》はあの空に浮かんでる浮遊物体のどこかにあるんでしょ
だったらあたしたちは
このままアルセイユで乗り込んで
そこにある《輝く環》を見つけ出すだけよ!
それでみんなに笑顔が戻るなら
女神様の妨害なんかはね返しちゃえばいいんだわ!
でも妨害は
それだけじゃない


《輝く環》の前には
おそらく強大な敵が待っているはずだ
結社の
執行者たち
レーヴェと…
それにワイスマン教授…ね
ここで全部終わらせる
すべての決着をつけよう！
……前方に雲の切れ目！
間もなく浮遊物体の上空に
出ます！

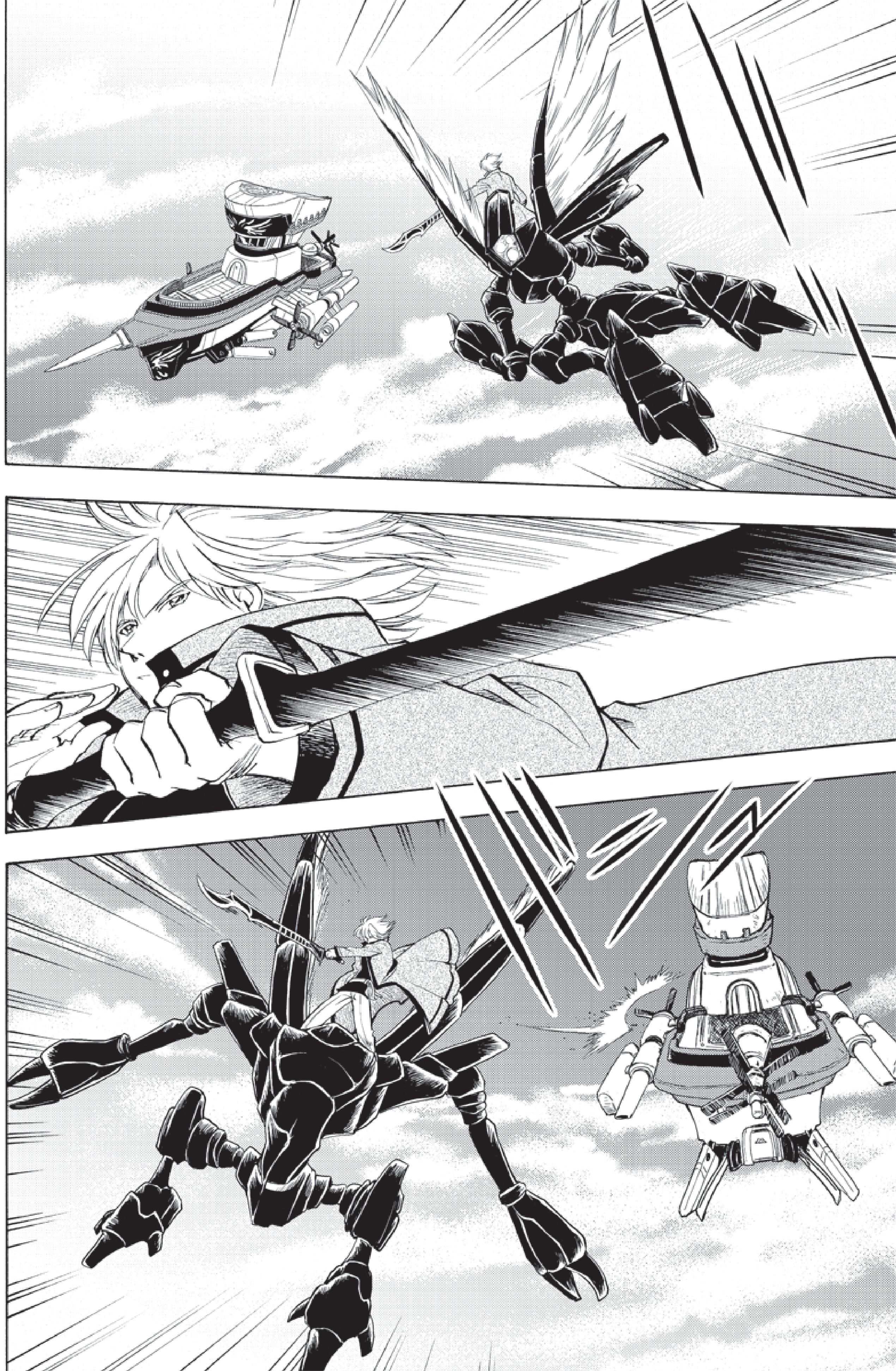





す…すごい…
こんなものが
空に浮かんでた
なんて…
これが
大崩壊で
失われた
古代ゼムリア文明の
精華……


よーし！
みんな！いくわよ！
リベールの平和を取り戻すために！


さあ
見せてもらおうか！
希望の翼が折られた時
おまえたちに何が示せるのかを！




あれ？
どした？
今
何か…
ん？
アルセイユの横を
変なのが
通り過ぎてった
ような…
ドオッ
ボン


わあ!?
何事か!?
…左側部に損傷!?
…だめじゃ!
このままじゃと
アルセイユは…!


次回に続く

▶ファルコムニュース◀

ファルコムファンに贈る最新ニュースをピックアップ！

受賞者には記念イラストを使用した豪華賞品をプレゼント！「ファルコム40周年イラストコンテスト」締め切り迫る！



日本ファルコムでは、2021年3月9日(火)に創立40周年を迎え、参加型企画『ファルコム40周年 イラストコンテスト』を開催中。公式ファンアート企画としては『英雄伝説 閃の軌跡Ⅱ イラストコンテスト』以来、実に6年ぶりの開催となります。
今回のコンテストでは「イラスト部門」「4コマ部門」「クリエイティブ部門」の3部門で作品を募集。受賞作品に選ばれた方には40周年記念イラストを使用した豪華賞品をプレゼント。この機会にぜひご応募ください！

■ 募集締め切り

2021年6月6日(日)

■ 賞品

● グランプリ（各部門1名様）
40thオリジナルクッション【非売品】
40thオリジナルマグカップ【非売品】

● 部門賞（各部門4名様）
40thオリジナルマグカップ【非売品】

※賞品の内容およびデザインは予告なく変更になる場合がございます。予めご了承ください。
※応募ルール、応募方法等の詳細につきましては「イラストコンテスト」特設ページをご確認ください。



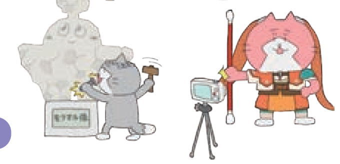
■「イラストコンテスト」特設ページ
https://www.falcom.co.jp/40th/contest

イラスト部門
ファルコム歴代タイトルすべてが対象！
あなたの好きなキャラクターや想い出の作品を思い思いに描いてください！



4コマ部門
ファルコムの歴代タイトルやキャラクターを題材に4コマのストーリーを作り上げてください！
くすっと笑ってしまうもの、ほろっと泣けるもの、オチがついていないもの…なんでもウェルカムです！





クリエイティブ部門
「コスプレ」や「痛車」、「ゆるみっしい仮装」から「みかんアート」まで… あなたの創造力次第で可能性は無限大！ ファルコムに関するあなたのクリエイティブ魂を披露してください！

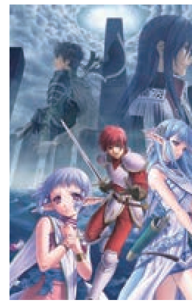
来場予約でクリアポスターもプレゼント！「イース版画展」全国各地で開催!!

驚きと感動、愛と冒険の「イース」の世界を、唯一無二のクオリティを誇る版画で楽しもう！
来場者にはA5サイズのイラストカードをプレゼント。さらに事前予約でクリアポスターがプレゼントされます。事前予約はアートの総合サイト『kazaru（カザル）』にて受付中。

■『kazaru（カザル）』予約ページ
https://kazaru.art/contents/119/

■ 特設サイト
https://www.artjeuness.net/event/post-52.php
※ご来場いただく際は、マスク着用など感染防止にご協力ください。

■ 開催スケジュール（6月）
6月4日(金)～6月7日(月)：イオンタウンふじみ野(埼玉)
6月11日(金)～6月14日(月)：鈴鹿VOICE HALL(三重)
6月18日(金)～6月21日(月)：広島産業会館(広島)







「アルティナ・オライオン」と「リィン・シュバルツァー」のフィギュア化企画が進行中！

ホビーメーカーのコトブキヤで、『軌跡シリーズ』より「アルティナ・オライオン」のデコマス（彩色見本）と、「リィン・シュバルツァー」の原型が公開されました。

■ **アルティナ・オライオン**
（2021年6月予約開始予定）

デコマスが初公開となった「アルティナ・オライオン」は、『英雄伝説 閃の軌跡Ⅳ-THE END OF SAGA-』より登場した旅装姿にてフィギュア化。ふわりと舞う髪、強さと儚さを兼ね備えた眼差しやポージングなど、ゲーム内の彼女のイメージをそのままに立体化されている。

■サイズ：全高約190mm（1/8スケール）
■価格：未定
■発売月：2021年予定
※コトブキヤショップ限定特典として、表情の組み替えができる「微笑み顔パーツ」が付属いたします。







■ **リィン・シュバルツァー**

原型初公開となる「リィン・シュバルツァー」は、『英雄伝説 閃の軌跡Ⅲ』以降に着用する教官服の姿で登場。コートをなびかせ、太刀を構えた精悍な姿での立体化です。日本ファルコムの徹底監修のもと、鋭意制作進行中!

■サイズ：未定（1/8スケール）
■価格：未定
■発売月：未定





計200名様に当たる！『那由多の軌跡：改 WEB抽選会』開催!! クイズとアンケートに答えて景品をGETしよう！

■ 応募期間
2021年6月24日(木)～7月21日(水)

■ 景品
「那由多の軌跡：改ロゴ」缶クリップ ×100名
「ナユタ＆ノイ仲良し」缶クリップ ×100名
※景品画像はイメージです。
※内容及びデザインは変更になる場合がございます。
※どちらも非売品となります。





■ 問題
Q.ナユタたちの便利屋に届いたドラッドさんからの依頼内容は？
• 村長の護衛
• ラブレターの配達
• お弁当の作成

■ 応募方法
応募期間中に、ゲームアンケート「那由多の軌跡:改」にご回答ください。
那由多アンケート内に、WEB抽選会用の専用設問（クイズ、希望の景品）が加わっています。

「那由多の軌跡：改」のアンケートを送信後、「ご回答ありがとうございました。」の画面が表示されれば、WEB抽選会の応募が完了します。

※応募期間になりましたら、ゲームアンケートページ内より、「那由多の軌跡：改」のアンケートにお答えいただけます。
※7/22以降は、通常のゲームアンケートとして実施されます。

《注意事項》
• ご応募はおひとり様1回まで。重複応募は無効とさせていただきます。
• プレゼント当選者には、ご入力いただいたメールアドレス宛に、7/23頃直接メールをお送りしますので、入力間違いがないよう十分にお気をつけください。
• 当選メールが受信できるよう「@falcom.co.jp」からのメールの受信設定をお願いいたします。
• 景品は郵便でお送りします。景品交換は承れませんので予めご了承ください。
• ゲームアンケートの通常のマンスリープレゼントは、WEB抽選会当選者様以外からの抽選とさせていただきます。

■「那由多の軌跡：改」公式サイト
https://www.falcom.co.jp/nayuta/



5月の
新／衣装替えキャラクターをチェック！

THE LEGEND OF HEROES
暁の軌跡
アカツキノキセキ

毎月魅力的な新キャラクターや衣装替えキャラクターが大注目の『英雄伝説 暁の軌跡』。
５月はメインストーリーの終章第２弾が実装！
さらにひと足早くアルフィンが花嫁衣装を披露！

『英雄伝説 暁の軌跡』公式ホームページ
http://akatuki.ujj.co.jp/
公式ツイッター
https://twitter.com/akatsuki_ujj

メインストーリー 終章第２弾「《戦争卿》の正体／前篇」を実装！

“宣戦布告”の期限まであと２日。
試験班と仮設工房の面々はヨルムンガルドを攻略すべく、様々な可能性を模索していた。
そして、ホイト老人からの伝言『――明日の午後、海の公園へ向かえ』。
果たしてこれが意味することとは――。









花嫁・アルフィン

“帝国の至宝”として国民に愛されるアルフィン皇女殿下がまさかの花嫁姿を披露!? 純白ではなくやや赤みがかったパステルカラーのドレスはやはりエレボニア帝国ならでは？ 天真爛漫な笑顔が素敵です。

※画像は開発中のものです。 ※上記のイベントは状況により内容の変更を行う場合があります。

終章　王都繚乱

第十六幕　武術大会

「うっわ〜、やっぱり大きな街よねぇ」
大きな門の向こうに広がる王都の街並みを見て、エステルは声をあげた。
昔、一度だけ父と一緒に来たはずなのだけれど、こんなに大きかっただろうかと思ってしまう。普通、子どもの頃見たものは、大きくなってまた見ると、思っていたよりも小さく感じたりするものだけれど、そんな常識が覆ってしまっていた。
入ってきた南の門から続く大通りは、エステルが今までに見たどんな通りよりも広々としているし、道の左右には女王生誕祭が近いからだろうか、幾つもの屋台が立ち並んでいる。人通りも多くて賑やかだった。
「まあ、リベール最大の街だからね。この大通りの先には、女王陛下の住んでいるグランセル城があるし。七耀教会の大聖堂や、王立競技場（グランアリーナ）、各国の大使館なんかもあるんだ」
「へ〜、そうなんだ。ヨシュアってば、けっこう詳しいね。やっぱり前に来たことあるの？」
「うん……。小さな頃だけどね……」
ヨシュアが言った。
つまりそれはエステルと知り合う前ということだ。小さなヨシュアがまだ父の養子になる前のこと……。
その隣で同じように街並みを眺め、エステルたちと同行してきた男も言う。

「いつ見ても美しい街ですねぇ。単純な規模だったら、帝都や共和国の首都のほうが大きいとは思いますが……。このグランセルには、他にない居心地のよい上品さがありますね」
アルバ教授だった。
「えへへ、なんだか嬉しいな。外国の人にそう言ってもらえると」
「いえいえ。本当のことですから」
「アルバ教授、セントハイム門ではお世話になりました」
改めてヨシュアが礼を言い、エステルも慌てて頭を下げた。
「ほんとに助かっちゃった」
「それも大したことではありません。見過ごすこともできませんでしたしね」
そう言って謙遜する教授にエステルとヨシュアは再び頭を下げた。
アルバ教授とは王都への旅の途中、セントハイム門で再会したのだ。
ツァイスの街からグランセルを目指すことにしたエステルたちだったが、王国軍によって飛行船の港にはふたたび検問が敷かれていた。
しかも黒装束の男たちを捕まえるためではなく、遊撃士――エステルたちを捕まえるためだった。
定期船を利用することは諦めるしかなかった。仕方なく街道を徒歩で王都へ向かうことになったのだけど……。
二つの街の間にあるセントハイム門で問題が起きた。
エステルたちが遊撃士であることを知ると、関所の兵士は『遊撃士を名乗った人間は取り調べの

対象にしている』と言い出したのだ。検問が飛行船港だけだと思っていた自分の迂闊さにエステルは今でも腹が立つ。
あのとき、どうして遊撃士の証を隠して、ただの旅行者のフリができなかったのか……。
そのまま取り調べを受けていたら、間違いなくセントハイム門で足止めをさせられていただろう。そのまま王国軍に通報されていたら万事休すだった。
だが、思わぬところから助け船が出されたのだ。
古代文明の遺跡《四輪の塔》を巡って旅をしているというアルバ教授が現れ、エステルたちは自分の護衛だと言って、兵士の追及から逃れられるよう、その場をごまかしてくれた。
アルバ教授も王都を目指していると聞き、エステルたちはその後、ここまで一緒に旅をしてきたというわけだ。
ともあれ無事に王都に到着できた。
まずは遊撃士協会の支部に行って、挨拶と所属変更の手続き、そして女王様と面会する方法を相談しなければならない。
「では、私はここで」
門を越えたところでアルバ教授が言った。
王都では歴史資料館に客員として厄介になるという。
教授と別れ、エステルたちはひとまず遊撃士協会支部へと向かう。大通りをそのまま北へと向かうと、通りの右手に見慣れた看板を見つける。羽のついた盾に篭手。遊撃士協会支部の印だ。

扉を開ける。
思いもかけない顔に出迎えられた。
「あんたたちは……エステルとヨシュアじゃないか」
「あ……、ルーアンの支部で会った……カルナさん!」
ルーアンの街の遊撃士協会支部で出会った遊撃士カルナだった。前に会ったときと同じように赤いバンダナを額に締めている。彼女の傍らには仲間だという遊撃士が三人もいた。グラッツ、アネラスそして彼らのリーダーだというクルツだ。四人ものベテラン遊撃士が揃う光景はなかなかに壮観だった。
互いの無事を確認し、再会を喜ぶ。
「どうも、ご無沙汰しています。でも、どうして皆さん王都に集まっているんですか?」
ヨシュアの問いかけに、奥の受付にいた青年が口を挟んでくる。
「それについては私から説明させていただきます。皆さんは、早く行かないと間に合わなくなると思いますよ」
「おっと、それもそうだね。じゃあ、またね、エステル、ヨシュア」
「あ、はい!」
入り口から身体をどけて、出ていくカルナたちの邪魔をしないようにする。
それから受付の青年の前まで進んだ。
エルナンと名乗った受付の男性は、カルナたちは王都で開かれる武術大会の予選に出るために来

たのだと教えてくれた。

「武術大会……？」

「《王立競技場（グランアリーナ）》で毎年開かれているイベントですよ」

「へえ～、なんだか面白そう！」

「はは、エステルが好きそうなイベントだね」

「だからこの時期には王都を訪れる遊撃士たちも多いんですよ。さて……あなたたちのことはキリカさんから連絡を頂いたので知っています。さっそくですが――」

エステルとヨシュアはエルナンに促され、所属変更の手続きをすませると、彼にレイストン要塞の事件の経緯と博士からの依頼について語った。

話を進めるに従ってエルナンの顔がだんだんと強張ってゆく。

「リシャール大佐による王国軍の実質的な支配……。情報部の特殊部隊によるテロ事件の自作自演……ですか」

エステルたちの話を聞いたエルナンが呆然とした顔になった。

「にわかには、信じがたい話ですね……」

「で、でも本当なんだってば！」

「ツァイス支部のキリカさんに問い合わせてもらえば判ります」

「大丈夫、あなたたちの言葉を疑うつもりはありません。むしろ、話を聞かせてもらってパズルのピースがはまった心地です。キリカさんも大っぴらには言えなかったわけですね。これ以上の詳し

いことはあなたたちの口から直接聞いてくれと言っていました。ですが――」

エルナンは両の眉を寄せた。温和そうな顔立ちだけに、苦しげにさえ見える表情になった。

「この王都でのリシャール大佐の人気はかなりのものでしてね。恥ずかしながら、話を聞くまで私も彼には共感を覚えていたくらいです。ましてや普通の市民は大佐が陰謀をめぐらせているなど夢にも思っていないでしょうね」

「やっぱりそうなんだ……」

「情報部だけあって情報操作は完璧みたいですね」

「遊撃士協会の性格上、軍への介入はできませんが……。座視できる状況でもなさそうです。とりあえず、あなたたちは予定通りラッセル博士の依頼――女王陛下への言伝（ことづて）を遂行していただけますか？」

エステルは頷いた。

「もちろん、そのつもりよ」

しかし問題は、どうやったら女王様に会えるかだ。

「普段なら、協会の紹介状があれば取り次いでもらえるはずですが……」

「たとえ紹介状があったとしても今は握りつぶされてしまうだろうね」

ヨシュアも懸念を口にした。

レイストン要塞と同じく、グランセル城も、リシャール大佐に掌握されている可能性が高い。

けっきょく良い考えは浮かばないまま、エステルたちは取りあえず王城へ向かうことにした。

どうせ入れないだろうが、何か打開策が浮かぶかもしれない。

† † †

街の中央を南北に走る大通りを北へと向かうと、入ってきた門よりもなお大きな門が見えてきた。

その丈高い門の向こう、門の高さを越えて空へと伸びるお城の尖塔が見える。

「うわ～、あれがグランセル城ね」

「さすがに大きいね」

門の手前からではグランセル城の尖塔と基部になっている部分しか見えないのだけれど、そこだけを見ても威容が判る。

警戒も厳重そうだった。強固そうな城門の手前には左右にしっかりと番兵が睨みを効かしている。

（となると、まずは、あの兵士さんに聞いてみるしかないわよね）

エステルたちは観光客を装い門番の兵士へと近づく。

聞き出した話によると、テロリスト騒ぎの影響で、王城は関係者以外の立ち入りを禁止しているという。やはり、とエステルは思う。お城は今、王国軍によって監視されている。強引に押しかける、なんて手段は到底できそうになかった。

「それじゃあ、女王様の姿を見るなんて夢また夢かしら」

自分にしてはうまく演技できたとエステルは思う。もちろん今回は遊撃士の証も服から外してある。エステルだって学ぶのだ。

「生誕祭当日はさ、ほら見えるだろう？　あそこの、お城の張り出し（テラス）から、いつも市民に挨拶してくださるから拝見する機会はあると思うけど……」

振り返って、王城の尖塔の下部にある張り出しを指さした。

「でもねえ……」

見張りの兵士は急にそこで口籠り、意外なことを教えてくれる。

女王陛下が病気で静養をしているらしい、というのだ。

「それは心配ですね。女王陛下の健康ももちろんですけど、政務の方は大丈夫なんでしょうか？」

ヨシュアがそう同情すると、門番の兵士は顔を曇らせた。

「ああ、その心配はごもっともだ。一応、名目上の代理はいらっしゃるんだけどね……」

「名目上の代理？」

エステルが呟いたときだった。

巨大な城門が音を立てて開き、城内から豪奢な衣装を着たずんぐりした男が現れた。おかっぱ頭でちょび髭をたくわえている。執事然とした老人が隣にいる。背後に連れているのは護衛の兵士たちのようだ。

エステルとヨシュアにとって、忘れたくとも忘れられない人物だった。

というか、できれば忘れたい人物だった。

「ええい、まったくなんたることだ！　とっくに予選試合が始まっている時間ではないか！　フィ

リップ！　お前が起こさなかったせいだぞ！」
「申しわけございません、閣下。ですが、閣下も規則正しい生活を心がけて頂きませんと……。ここ数日、宴会の席ばかり設けて呑めや歌えやの大騒ぎ。一年分のビールとドーナツを一週間で平らげるかのような勢いで……。あのような調子では寝過ごされるのも無理ないかと……」
「黙れフィリップ！　お前の小言はもう聞き飽きた！　次期国王たる私には、好きな時に好きなことをする資格があるのだ！　ええい、こうして議論している時間も惜しい！　急いで王立競技場(グランアリーナ)に向かうぞ！」
　一行はエステルたちに気づいた様子もなく、前を通り過ぎていった。
　エステルは呆れるしかなかった。気まずそうな兵士と目が合ってしまう。
「えーと……」
「みなまで言うな。今のが、陛下の代理として政務を担当しているデュナン公爵閣下だ」
「政務を……」
　女王様の行う政務というのは、ビールを呑みドーナツを食べながらでもできるものなんだろうか？
　デュナン公爵は、女王様の甥なのだから、王位継承権で言えばそれなりの順位になるはずで、代理と言われれば納得できる身分ではある。
　納得したくない人物の筆頭でもあるけれど。
　エステルは頭を抱えた。

「は、激しく頭が痛くなってきたんですけど……」
「ま、まあ心配しなくても頼もしい補佐がいるから大丈夫さ」
「頼もしい補佐、ですか」
　ヨシュアの問いに兵士は誇らしげに答えたのだ。
「へへ、王国軍情報部のリシャール大佐という人でね」
「情報部の……」
「リシャール大佐」
「ああ、君たちも知っているんだな。そうだろうなあ。なにしろ我が王国軍の誇るキレ者の若手だからね！　その方(かた)が、道楽者の公爵閣下に代わって政務を一手に引き受けてるらしいんだよ」
　エステルとヨシュアが見かわす視線の意味に気づかずに、門番の兵士は胸を張ってリシャール大佐を持ちあげ続けた。

† † †

　結局、城門を越えての城内見物はできず、王城前の広場からエステルたちは引き返さざるをえなかった。
「うーん……。でも予想以上に収穫があったわね」
　エステルは、リシャール大佐を信頼しきっている門番の兵士の言葉を思い返す。

大佐が、自分たちの考えている以上に王国の中枢に食い込んでいることを知れたのは大きな収穫だとエステルは思う。

「それにしても、あの公爵が女王様の代理をしてるなんて……」

「政務の実権を握っているのは、たぶんリシャール大佐のほうだろうね。しかも、自らが黒幕であるのを周りに気づかせてないみたいだ。演技力と情報操作力は正直、かなりの物だと思うよ」

　しかし、そうなると、ますます手詰まりだ。今のところ、王城へと入り込む手立ても、女王様に面会する当ても見つけられていない。

「ヨシュアってば。敵を誉めてる場合じゃないわよ！」

　ヨシュアが肩を竦める。

「仕方ないさ。事実だからね」

（うう……っ。そりゃ、ヨシュアに当たってもしょうがないのはわかっているけれどさ、あーもう、頭が痛くなってきた）

　これから何ができるだろう？　そう考えていて、エステルはふと門番の言葉を思い出した。

「そういえば……あの公爵、武術大会に行くつもりみたいだったわね。ね、あたしたちも行ってみない？」

　どうせ行く当ては他にない。

　せっかくの武術大会を見ておきたい気持ちもあった。

「そうだね……。たしかに公爵の動向は、調べておいて損はなさそうだ」

　エステルもヨシュアも小さい頃に訪れただけだから王都の地理に詳しくはない。

けれども、王立競技場はグランセルの名所らしく、少し街の人たちに尋ねるだけで辿りつくことができた。

　街の東側にある巨大な四角い建築物だった。

　建物を見上げながら、いったいどれほどの観客が入ることを想定しているのだろうかとエステルは思ってしまう。高さは三階か四階建てほどもあり、建物の幅にいたっては百歩は楽に超える。遊撃士協会の支部の建物が二、三十個は入ってしまいそうだ。

「これはまた……大きいわねー」

　受付に行くと、今日の試合はもう半分ほど終わってしまっているけれど、まだチケットは残っているという。

　ヨシュアと二人で見学してみることになった。

　建物の内にある階段を昇ってゆくと、すり鉢状になっている観客席の一番上に出た。

　鉢の底にある芝の生えた競技場を見下ろすことができる。

　観客席を見回せば、中央に見晴らしのいい貴賓席があり、どうやら公爵たちはそこにいるようだった。小さく見えている派手派手しい衣服に見覚えがある。

　観客席は混み合っていて熱気に満ちていた。

「うわぁ、いっぱい入っているわね～！」

「そうだね。予選からこの数っていうことはかなり大きなイベントみたいだ」

「試合、どこまで進んでいるのかしら」
会場に設置されている導力拡声器から注意を促すような鐘の音が鳴った。
続いて女性の音声が流れてくる。
『お待たせしました。これより第七試合を始めます』
「あ……ちょうど試合が始まるみたい」
「それじゃあ、どこか空いてる所に座ろうか」
「うん」
一般のチケットは座席の指定などなく、思い思いに好きな席に座れるようだ。といっても、さすがに眺めの良い席はみんな埋まってしまっている。
「あ、ほら、そこそこ！」
なんとか席を見つけ、ヨシュアと並んで腰掛ける。
「嬢ちゃん、その棒っきれジャマだよ！」
「あ、はい。す、すみません」
肌身離さずもっている両手持ちの棍を慌てて足下に置く。さすがにこんな観客席で魔獣と戦うこともないだろう。
ほっと息をついて座ってから気づいた。
（って……こ、これってまるでデートみたいじゃない……!?）
そんなことを考えてしまったものだから、エステルはヘンに意識してしまった。空いている席に無理に二人で割り込んだのだ。かなり窮屈で互いの肩がぶつかってしまう。けれどもヨシュアのほうは何も感じてはいないようで、涼しい顔で目の前の試合に集中していた。それがまた何だかもやもやしてしまう。
（そんなこと考えてる場合じゃないってば！）
エステルも試合へ集中することにした。
『東、蒼の組、国境警備隊、第二連隊所属、パウル少尉以下四名のチーム！』
拍手と歓声と共に、東の控室から四人の選手が入ってくる。
「あれっ、試合って一対一じゃないんだ？」
「うん、団体戦だったみたいだね。でも僕の記憶だとグランセルの武術大会は確か個人戦だったはずだけど……」
『西、紅の組。遊撃士協会、グランセル支部、クルツ選手以下四名のチーム！』
チームの代表者の名前とともに見慣れた顔が出てきた。
先ほどより大きな歓声があがる。
「あっ、カルナさんたちだわ！」
「危なく見逃すところだったね」
『これより武術大会、予選第七試合を行います。両チーム、開始位置についてください』
両チームは試合場の真ん中を挟んで対峙する。
中央に立った主審の合図で試合が始まった。

どうやら戦いには魔法(アーツ)の使用も許可されているようで、一般の人々には軍人や遊撃士の操る戦いのための魔法は珍しいのだろう、皆が真剣な顔で見つめていた。
魔法の放つ鮮やかな光が昼のなかでも観客たちの目に眩しく映る。
カルナたちは息の合った連携で危なげなく勝利を収めた。
遊撃士の活躍に会場は大いに盛り上がっている。
拍手がなかなか鳴りやまない。
「やったあ！」
「うん、いい勝負だったね」
ただ、その日に会場を一番盛り上げたのは、最後となる次の試合だった。
予選第八試合。
東側から出てきたグループを見てエステルは思わず目を瞠ってしまう。
誰あろうルーアンの街にいた不良たち、《レイヴン》の若者たちだったのだ。
どうやら武術大会には一般人も参加できるようだが、エステルはさすがに彼らには無茶ではないかと思った。相手はおそらく王国軍か遊撃士のチームになるだろう。勝てる見込みは薄い。
西側から対戦相手が出てきた。
その男を見てエステルはさらに驚いてしまう。
遠目に見てもまるで熊のような大きな体格をしていたが、驚いたのはそこではなかった。
見覚えのある顔と特徴的な薄手の東方の武闘着を着込んでいたのだ。

「あ、あの人⁉　エルモ村からルーアンに戻るときに会った大男じゃない⁉」
「また知り合いか……世間は狭いって感じだね」
導力拡声器から聞こえる女性の声が男の名を告げる。
『西、紅の組。隣国、カルバード共和国出身、武術家ジン以下一名のチーム！』
「……あの人が……《不動》のジン……か」
「知ってるの？」
「ちょっとだけ噂を聞いたことがある。エステル、彼も遊撃士だよ」
「えっ！」
「カルバード共和国の有名な遊撃士だ。《不動》のジンって呼ばれている」
「不動……。でも、一人で出場なんてさすがに不利だと思うけど。しかも、あの熊さんってば武器らしいもの何ももってないんですけど」
「たしかに……」
対してレイヴンたちはしっかり武器をもっている。さすがに武術大会だから相手を傷つけるところまではやらないだろうけれど、それでも四対一でかつ素手なんて無茶だ。
——と思った。
「勝負あり！　紅の組、ジン選手の勝ち！」

「……す、すごい！」
「勝負にならなかったね……」
　レイヴンの四人組を相手にたった一人で挑み、それでもジンは圧倒的な強さを見せつけ勝ってしまう。
　しかも、戦いが終わってから気づいた。
　ジンは初めに立っていた場所から一歩も動いていない。
　仕掛けてくる相手の攻撃を身体の動き一つでいなしてみせた。手のひらで相手の身体を撫でるように触れただけで、ひっくり返していたのだ。
　観客席からはひと際大きな拍手と歓声が沸き起こった。
「まあでも、彼らも頑張ったと思うよ」
　ヨシュアの言うのはレイヴンの四人組のことだ。
　それは認めてもいいとエステルも思う。明らかに実力差があったのに彼らは最後まで卑怯な手を使わずに戦ったのだ。ルーアンの街の倉庫で対峙したときには子どもは人質に取るし、ほんとに只の不良だった。よっぽど、アガットの「お仕置き」が効いたんだろうか。
（アガット……元気にしてるかな。ティータ、ラッセル博士……）
　心配の種が顔を覗かせたけれど、大丈夫だと自分で自分に言い聞かせる。
「にしても、強すぎるわよ……あの人」
「うん」

　一日目の試合の終了を告げる女性の声が流れる。
　予選がすべて終了してから、大会主催者であるデュナン公爵閣下からの挨拶があった。彼は今回の大会における自分の功績を声高に主張する。どうやら例年ならば個人戦だった武術大会を団体戦にしたのも公爵だったようだ。
　公爵は最後にこう告げた。
「大会の優勝者には、賞金とは別に私からプレゼントを用意しよう！　三日後にグランセル城で行われる宮中晩餐会への招待状である！」
　言った後で脇に控えていた執事が慌てていたから、その発言はおそらく周りも予想していなかったものなのだろう。
　観客たちは気前のいい公爵からの贈り物に我が事のように歓声をあげた。
　エステルは思わずヨシュアと顔を見合わせてしまう。
　宮廷晩餐会の招待状！
「ひょっとして、カルナさんたちにお願いすれば……」
「うん。あの人たちだったら勝ち残れるかもしれない」
「だよね！」
　優勝すれば彼らはお城に入ることができる！
　そしてエステルたちは西側の参加者控室へと向かったのだ。
　幸いにも試合を終えたばかりのカルナたちはまだ控室に残っていた。

エステルの考えはこうだ。大会に出場しているカルナたちが優勝すれば、宮廷晩餐会に招待される。つまりお城のなかへと入ることができる。陛下との面会の機会も得られるかもしれない。だから彼女らに言伝（ことづて）を頼むのだ。自分たちが直接その役目を果たせないのは悔しいが、拘っている場合ではなかった。

エステルとヨシュアは控室にいたカルナにお祝いの言葉を言う、それから自分たちがグランセルを訪れた理由について話そうとした。

だが。

依頼の件を伝える前に、リーダーであるクルツがエステルとヨシュアを見て言ってきたのだ。

「ふむ。ものは相談だが……君たち、ジンさんに協力して本戦から出場してみないか？」

「え……？」

いきなりの言葉にエステルは答えに詰まってしまう。

話を聞いているうちに判ってきたのだけれど、デュナン公爵が武術大会を団体戦にしたのは本当に気まぐれだったようだ。

だが、あのカルバード共和国の遊撃士であるジンは、例年通りの個人戦だと思って街にやってきたらしい。常日頃から特定の仲間と組んだりしないジンは、大会に一緒に出る仲間のいない状態だという。

「さっきまで部屋に居たんだけどね。なんで一人なのかあれこれ聞いてみたら、そんな感じでさ……。もちろん遊撃士協会の支部に助っ人のできる人がいないか確かめには行ったらしいんだけど」

カルナが言って、横にいるクルツも頷いている。

「シェラザードは忙しいらしいし、アガットのヤツとは連絡が取れない。他の連中も似たようなもんらしい」

クルツの言葉に思い当たる節のあるエステルである。

なんだかジンに申し訳ない気持ちになってしまう。決してエステルのせいではないはずなのだけれど。

「でも、本戦からって可能なんですか？」

慎重派のヨシュアが念を押したけれど、そのあたりは突発的に決まった団体戦だけに融通が利くらしかった。

「なるほど……」

考え込むヨシュアにカルナが遊撃士の顔に戻って言う。

「っと、長話をしすぎちまったようだね。まだこの街での用事も残っているんでね。お先に失礼するよ」

待ってください、とヨシュアは声をかけたのだけれど、カルナたちは本当に何か急ぎの用事があるようで、もう背中が扉の向こうへと出てしまっていた。

「どうしよう、僕たちも仕事の相談をするつもりだったんだけど。……エステル？」

ただ、その間にエステルは段々と実感が湧いてきてしまったのだ。

武術大会である。

しかもリベール共和国の王都で年に一回だけ開かれる大会だ。
今日の予選を半分見ただけでも判る。恐ろしくレベルの高い戦いが待っている。
血が、熱くなっていた。
「来た、来た、キタ――――！」
エステルは思わず叫んでいた。気持ちが盛り上がるのを抑えきれない。
「エ、エステル？」
「そうよそうなのよ！　やっぱりそーこなくっちゃ！　ああん、女神様(エイドス)！　大いなる加護を感謝いたします～！」
天上を見上げて言い放ってしまった。
「エ、エステルが壊れた……」
ヨシュアが酷いことを言う。
けれど、エステルは気にならなかった。
「考えてもみなさいよ！　武術大会に出られるのよ？　困ってるジンさんに協力できる。あたしたちは城に堂々と入れる。ついでに白熱した戦いもできる。よっしゃあ、これぞまさに一石三鳥！」
「そんなに出たかったのか……。まあ、優勝できると決まったわけじゃないけど、僕たちの手で、依頼を達成できる可能性が出てきたのは嬉しいな」
「うんうん。なんといってもそれが大きいよね！」
ラッセル博士からの依頼を自らの手で果たす機会が訪れたのだ。だからといって、もちろん、そこに拘わりすぎるつもりはないけれど。
「それに、この情報はぎりぎりまであまり広めたくないしね……」
ヨシュアが控室のなかを見回しながら声を潜めた。
試合が終わってから時間が経っているから部屋にはエステルたちしかいない。
それでも王国軍が大それたマネを企んでいるという話はあまり大っぴらにできるものではなかった。壁に耳あり、だ。カルナたちに伝える場合も、この部屋で詳しい話までは無理だったろう。
それに頼むのは彼らが優勝してからでも遅くない。
「やってやるわよ！　優勝してみせる！」
「まあ、頑張ってみようか」



月刊 FALCOM MAGAZINE Vol.124

発行人	田中一寿
発行協力	日本ファルコム株式会社
編集	小渕智幸 河野崇
デザイン・DTP	株式会社 ACQUA
表紙ロゴデザイン	荻窪裕司（デザインクロッパー）
発行	株式会社フィールドワイ 〒 101-0062 東京都千代田区神田駿河台3-1-9　日光ビル3F TEL 03-5282-2211（代表） http://www.field-y.co.jp/

FALCOM MAGAZINE SPECIAL プレゼント!!

アンケートにお答えいただいた方から抽選で
ここでしか手に入らないアイテムをプレゼント！



1名様

『イースⅧ -Lacrimosa of DANA-』特大タペストリー

『イースⅧ -Lacrimosa of DANA-』のキャラクター、
ダーナ=イクルシアの描き下ろし特大タペストリーを
1名にプレゼント！

ご応募は特設サイトまで▶ http://www.field-y.co.jp/root/falmagap/

メールでご応募の場合は下記フォーマットに記入のうえ、（falmaga@field-y.co.jp）まで
お送りください。当選者には編集部よりメールにてお知らせ致します。

件名：vol.124プレゼント係
1：お名前（ペンネーム可）
2：面白かった記事の番号→
　つまらなかった記事の番号→（記事一覧から１つずつ）
3：アンケート①『黎の軌跡』主要キャスト情報の第一印象は？
　アンケート②いよいよ終章突入！
　『暁の軌跡』はプレイしていますか？
4：希望するプレゼント番号
5：ご意見・ご感想など

記事一覧

1：黎の軌跡最新情報
2：も～っと集まれ！ファルコム学園
3：創の軌跡　THE MISERABLE SINNERS
4：英雄伝説 空の軌跡SC ～絆の在り処～
5：ファルコムニュース
6：暁の軌跡最新情報
7：英雄伝説 空の軌跡

応募締め切り　6月28日（月）

メールにてお送りいただくお名前やご住所等の情報は、商品の発送のためにのみ利用し、そのほかの目的には利用致しません。
また、情報は応募締め切り後3ヶ月を越えて保有することはありません。